

(平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業)

食品産業のグローバル展開

～アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース～

報告書

日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）午後 1 時～5 時

場所：都道府県会館 402 号室 （東京都千代田平河町 2-6-3）

主催：ILSI Japan

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13:00-13:10 | 開会 : ILSI Japan |
| 13:10-13:30 | 食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業（農林水産省食料産業局輸出促進グループ）について：
農林水産省 食料産業局輸出促進グループ長 山田英也 |
| 13:30-14:10 | アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース（平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業）：
ILSI Japan 特別顧問 浜野弘昭
Q & A |
| 14:10-14:50 | ASEAN における食品添加物規格データベースと食品規格基準ハーモナイゼーションに係わる ILSI の協力活動：
Database on ASEAN Food Additives and ILSI Activities Supporting ASEAN Food Standards Harmonization
Mr. Keng Ngee Teoh, Senior Manager, Scientific Programs, ILSI Southeast Asia Region
Q & A |
| 14:50-15:10 | 休憩 |
| 15:10-15:50 | ASEAN 食品規格基準ハーモナイゼーションの進捗状況：
Progress of ASEAN Food Standards Harmonization
Professor Dedi Fardiaz, Department of Food Science and Technology, Bogor Agricultural University
Q & A |
| 15:50-16:40 | 食品産業のグローバル展開：
日経 BP 社 特命編集委員 宮田 満
Q & A |
| 16:40-17:00 | 総合討論/まとめ |

国内の食市場が縮小する中、2009年に340兆円であった世界の食市場は2020年には680兆円に拡大するとされており、我が国の農林水産業、食品産業の成長のためには世界の食市場をとりこんでいくことが必要と考えられる。一方、経済成長が著しく有望な市場の一つと考えられるアジア諸国では、各国毎に農林水産物・食品に係る規格や規制が異なっており、食品産業の海外展開に支障が生じている。

これらの状況を改善するためには、アジア諸国各国の食品等に係る法規、規格及び規制について調査、検索可能な情報として一般に公開し、関係者に共有を図る必要があることから、ILSI Japanでは、農林水産省より平成21年度～24年度東アジア食品産業海外展開支援事業、平成25年度グローバル革新支援事業及び平成26年度食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業「食品規格基準等調査」を受託した。

本講演会は、平成21年度から26年度における同調査事業の概要及びデータベースを紹介するために企画された。また、ASEANでは2015年を目途に、食品安全基準、食品規格・基準等の統合を進めており、この機会にその進捗状況、情報提供も行われた。

まず、農林水産省 食料産業局輸出促進グループ 山田英也グループ長より本調査事業についての説明があり、平成27年度にも継続される意向が表明された。引き続きILSI Japanより、[平成21年度～24年度農林水産省東アジア食品産業海外展開支援事業、平成25年度グローバル革新支援事業及び平成26年度食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業「食品規格基準等調査」の概要](#)及びこれまでに収集した各種情報のデータベース化について、以下の通り紹介した。

調査対象国：

ILSI Japanでは、平成21年度から24年度まで、農林水産省農山漁村6次産業化対策事業、東アジア食品産業海外展開支援事業の内、「東アジアの食品等の規格基準、分析方法の調査と結果の共有化」について事業支援を受け、コーデックス委員会、韓国、中国、ASEAN主要国（インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア）、インド及び近隣諸国（スリランカ、ネパール、バングラデシュ）について調査を実施し、平成25年度グローバル革新支援事業では、それまで未調査のASEAN諸国の内カンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾についても新たに調査を行った。

平成26年度、食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業を受託し、新たに香港を調査範囲に加えた。

調査対象食品・項目：

平成21年度から24年度までの調査においては、食品の法的枠組み、即席めん、炭酸飲料、調理冷凍食品及び乳・乳製品（牛乳）の規格基準及びその分析方法、食

品添加物に関わる法体系、使用基準等に関する調査、平成25年度事業では、更に我が国食品産業が得意とされる高付加価値型食品である、栄養機能食品、特定保健用食品、サプリメント等、いわゆる“機能性食品（栄養表示、栄養機能強調表示、健康強調表示及びサプリメント）”の制度についての調査を行った。

平成26年度は、調査対象食品・項目を味噌、醤油を主とした調味料類、ジュース、ミネラル・ウォーターを主とした清涼飲料水、健康食品、バター、チーズを主とした乳製品、アルコール飲料、食品表示及び果実類（りんご、梨、桃、温州みかん、ぶどう、柿、イチゴ、メロン、茶）、野菜（長芋、甘薯、キャベツ、ダイコン、レタス）を主とした残留農薬基準に拡大した。

ワークショップ/国際会議：

調査により抽出された食品規格・基準等の調和又は統一を図るための課題（各国の食品安全の枠組み、食品規格等の現状と相違、国際標準との整合性等）について情報の共有を図るため、平成21年度から24年度の調査結果については、「東アジアの食品等の規格基準の調査と結果の共有化」（平成22年3月、東京）、「アジア・太平洋地域の食品規格基準、資源・環境対策に係る情報の共有化」（平成23年3月、バンコク）、「アジア地域の食品規格基準に係る情報の共有化」（平成24年2月、ジャカルタ）、「インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究」（平成25年2月、東京）という形で公表、情報を共有、平成25年度においては、新たな調査対象国がカンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾であることから、これらの国々の行政官を中心としたワークショップ「食品の安全と基準」と、ASEAN地域内ではよりグローバル化が急がれるCLMV諸国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）の行政官によるラウンドテーブルディスカッション「食品安全に関わる課題と挑戦」を、それぞれ平成26年3月4日及び5日に、ミャンマー、ヤンゴンにおいて開催した。

平成26年度については、平成26年12月9日及び10日にインド、デリーにて国際会議「食品管理システムの社会基盤の必要性：地域のハーモナイゼーションへの道」を開催した。

データベース：

平成26年度の事業において、これまで（平成21～24年度）に実施した東アジア食品産業海外展開支援事業及び平成25年度グローバル革新支援事業の調査内容（<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/COM/Com-W.php>）と整合性のある形で取りまとめ、収集した各種情報を検索可能な情報としてデータベース化した（<http://www.shokuhinn-kikaku.info>）。

ASEANにおける食品添加物規格データベースと食品規格基準ハーモナイゼーションに係わるILSIの協力活動：

引き続き、ILSI 東南アジア地域支部 Senior Manager, Scientific Programs の Keng Ngee Teoh 氏より ASEAN における食品添加物規格データベース（Codex

GSFA 及び ASEAN 各国における、着色料、保存料、甘味料、着香料及び酸化防止剤の使用基準に関するデータ収集とデータベース化)、更には、暴露評価のための食品摂取量調査とそのデータメース化 (ASEAN Food Consumption Database for Exposure Assessment) の進捗状況が紹介された。

ASEAN 食品規格基準ハーモナイゼーションの進捗状況 :

ASEAN における、食品安全基準、食品規格・基準等の統合プロセスにおいて中心的な役割を担ってきた、インドネシア Bogor Agricultural University, Department of Food Science and Technology の Dedi Fardiaz 先生より、これまでの経緯及び現状が以下の通り紹介された。

- 2015 年中の ASEAN Economic Community (AEC) の始動に向かい、メンバー国における食品管理システムの強化のためのガイドライン (ASEAN Common Food Control Requirements) の策定
- 域内貿易の円滑化及び将来の経済統合に資するための、食品安全基準のハーモナイゼーションに向けた意志決定のためアプローチ (Decision tree approach) の策定
- 2015 年中の AEC の実現の迅速化に資するため、幾つかのコーデックス基準が一部修正して採択されている。



食料産業局輸出促進グループ長 山田英也氏



ILSI Japan 浜野



Mr. Keng Ngee Teoh, ILSI SEAR



Prof. Dedi Fardiaz, Bogor Agricultural University



国際生命科学研究機構 (ILSI) について

ILSI Japan

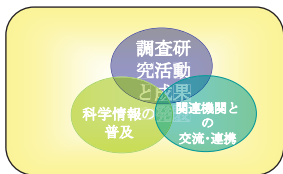
INTERNATIONAL LIFE SCIENCES INSTITUTE (ILSI) 国際生命科学研究機構



International Life Sciences Institute, ILSIは1978年にアメリカで設立された非営利の国際組織。

科学的な視点で、健康・栄養・安全・環境に関わる問題の解決および正しい理解を目指すとともに、今後発生する恐れのある問題を事前に予測して対応していく等、活発な活動を行っている。

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) は1981年に設立され、ILSIの一員として世界的な活動の一翼を担うとともに、日本独自の問題にも積極的に取り組んでいる。



ILSI JAPANの活動

調査・研究活動とその成果の発表

ILSI Japanの会員は、各研究部会に参加して、内外の最近の研究動向に直接ふれ、**共通の課題を研究**。研究テーマは研究部会会員によって決定。国内外の最新のデータを各機関から収集、討議し、その結果を発表している。新しい研究テーマは大学などの研究機関に研究を依頼することもある。また、研究部会の成果を最新の科学情報として会員に提供するとともに、**関連する行政、学界、産業界に提言し、政策の基盤や研究情報の拡大に貢献している。**

科学情報の普及

機関誌「イルシー」（季刊）を発行しているほか、研究部会による研究成果を報告書として出版。また、シンポジウムや講演会、セミナーシリーズを開催し、多くの方々の参加を得、**最新の正しい科学情報の普及に努めている。**

国内外の関連機関との交流・連携

ILSI Japanが行なうシンポジウムは、国内外の関連機関と共催で開催する機会が多く、国や国際機関、各種法人との連携も強まっている。コーデックス等、国連の国際会議にオブザーバーとして参加し、情報交流、意見具申を行っている。また、本部や他の支部から刊行物がいち早く届き、関連事項についての世界の広範な最新情報を常時、入手している。

2001年7月に活動を開始したILSI CHP Japanは、世界的規模の公衆衛生に係る課題に取り組み、科学に基づいた予防・改善活動を行ってきた。国内では**Project PAN**（身体活動と栄養）、アジアでは**Project IDEA**（鉄欠乏性貧血症の撲滅活動）、**Project SWAN**（安全な水の供給と栄養・保健環境の改善）を、その分野の専門家の協力を得、適切な科学的検証を行いながら推進している。2006年8月よりILSI Japanの一部門としてILSI Japan CHPと名称を改め、活動している。

ILSIの国際組織（地域支部） (INTERNATIONAL LIFE SCIENCES INSTITUTE)



- ILSI本部
 - 支部** 日本をはじめとする15の地域支部
環境保健科学研究所 (ILSI HESI)
 - 国際委員会** 国際機関委員会 (IOC)
国際食品バイオテクノロジー委員会 (IFBIC)
 - 研究財団** GM作物の環境リスクアセスメント
研究所(CERA)
リスクサイエンス研究所 (RSIA)
栄養・健康推進協力センター (CNHP)



農林水産省
東アジア食品産業海外展開支援事業(平成21～24年度)
グローバル革新支援事業(平成25年度)
食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業(平成26年度)

東アジアの食品等規格基準の調査と情報の共有化

実施主体：
特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構
(ILSI Japan <http://www.ilsijapan.org>)
国際協力委員会 浜野 弘昭

東アジアの食品等規格基準の調査と情報の共有化

〔背景〕： 国内の食市場が縮小する中、2009年に340兆円であった世界の食市場は2020年には680兆円に拡大するとされており、我が国の農林水産業、食品産業の成長のためには、世界の食市場をとりこんでいくことが必要と考えられる。一方、経済成長が著しく、有望な市場の一つと考えられるアジア諸国では、各国毎に農林水産物・食品に係る規格や規制が異なっており、食品産業の海外展開に支障が生じている。これらの状況を改善するためには、アジア諸国各国の食品等に係る法規、規格及び規制について調査し、検索可能な情報として一般に公開し、関係者に共有を図る必要がある。

〔調査概要〕： 東アジア地域での食材、食品の流通を拡大するため、東アジア地域諸国における市場性(人口等)、日本の進出企業動向、今後の将来性等から、特に**韓国、中国、ASEAN 諸国、インド地域及び台湾、香港**における、**食品法体系、主たる食品等の規格基準やそれらの分析方法及び食品添加物規制、食品表示、残留農薬基準**を調査、情報を共有し、それらの相違点、及び今後統一或いは調和を図るための課題を抽出。

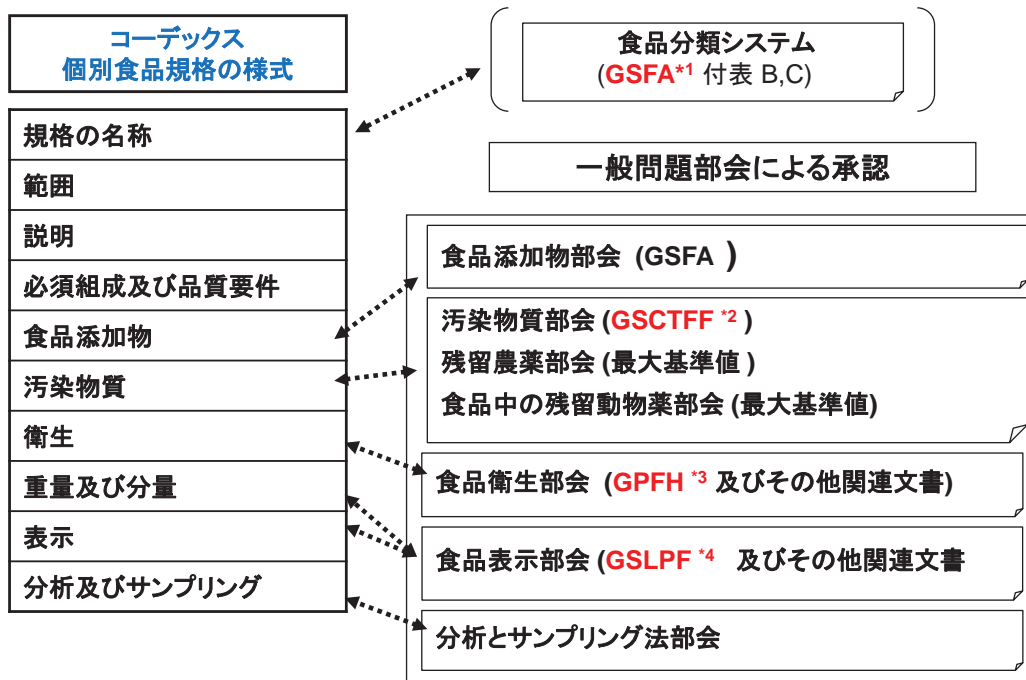
東アジアの食品等規格基準の調査と情報の共有化(I)

事業年度	調査事業内容	調査対象国	ワークショップ / 国際会議	日時 開催場所	参加者数
平成21年度 (I)	食品関連法規の体系、即席めん、炭酸飲料、調理冷凍食品の規格・基準	コーデックス、韓国、中国、マレーシア、シンガポール、フィリピン	「東アジアの食品等の規格基準の調査と結果の共有化」	平成22年3月29日 東京(日本)	163名
平成22年度 (II)	上記に加えて、牛乳の規格基準、及び上記個別食品規格の分析方法	上記に加えて、インドネシア、タイ、ベトナム	「アジア・太平洋地域の食品規格基準、資源・環境対策に係る情報の共有化」	平成23年3月4日 バンコク(タイ)	115名
平成23年度 (III)	上記に加えて、食品添加物の法体系及び使用基準、ハラール制度	上記に同じ	「アジア地域の食品規格基準に係る情報の共有化」	平成24年2月21日 ジャカルタ(インドネシア)	127名
平成24年度 (IV)	上記に同じ(ただし、ハラール制度を除く)	上記に加えて、インド及び近隣諸国(スリランカ、ネパール、バングラデシュ)	「インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究」	平成25年2月22日 東京	80名
平成25年度 (V)	上記に加えて、栄養表示、栄養機能強調表示、健康強調表示及びサプリメントの制度	上記に加えて、カンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾	「食品の安全と基準」及びラウンドテーブルディスカッション「食品安全に関わる課題と挑戦」	平成26年3月4、5日 ヤンゴン(ミャンマー)	68名
平成26年度 (IV)	上記に加えて、調味料類、清涼飲料水、健康食品、乳製品、アルコール飲料、食品表示及び残留農薬基準、及びこれまでの調査結果のデータベース化	上記に加えて、香港	「食品管理システムの社会基盤の必要性：地域のハーモナイゼーションへの道」 「食品産業のグローバル展開～アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース～」	平成26年12月9、10日 デリー(インド) 平成27年2月19日 東京	108名

Organization / Region / Country		Legal Framework	Food Standards & Specifications and Methods of Analysis	Conditions for Use of Food Additives	Functional Foods (incl. Nutrition Labelling and Nutrition/Health Claims)
Codex		2009	2009, 2010	2011	2013
Japan					
Korea					
China					
Taiwan		2013			
ASEAN	Malaysia	2009	2009, 2010	2011	
	The Philippines				
	Singapore				
	Indonesia	2010	2010	2013	
	Thailand				
	Vietnam	2013			
	Brunei				
	Cambodia				
Laos					
Myanmar					
India		2012	2012	2012	
Bangladesh					
Nepal					
Sri Lanka					

コーデックス個別食品規格の作成

コーデックス手続きマニュアル： 第3節 コーデックス規格と関連文書の作成



- *1 Codex Stan 192-1955 食品添加物一般規格
- *2 Codex Stan 193-1995 食品及び飼料中の汚染物質一般規格
- *3 CAC/RCP1-1969 食品衛生一般原則
- *4 Codex Stan 1-1985 包装食品表示一般規格

平成24年度版 農山漁村6次産業化対策事業関係補助金 東アジア食品産業海外展開支援事業

東アジアの食品等の規格基準、食品添加物の調査と結果の共有化



↓↓↓ 国を選択してください

CODEX ALIMENTARIUS
International Food Standards

- 日本国
- 大韓民国
- 中華人民共和国
- マレーシア
- シンガポール共和国
- フィリピン共和国
- インドネシア共和国
- タイ王国
- ベトナム社会主義共和国
- インド
- バングラデシュ人民共和国
- ネパール王国
- スリランカ民主社会主義共和国
- ブータン王国

Investigation Format for Nutrition Labelling Regulations-1.1

Nutrition Labelling	Codex	Japan
Relevant Laws/Regulations 関連法規／規則	CODEX STAN 1-1985 CAC/GL 2-1985	Food Sanitation Act (1947) Health Promotion Act (2002) Food Labelling Act (2013) 食品衛生法(1947) 健康増進法(2002) 食品表示法(2013)
Nutrient Reference Values (Definitions, NRVs-R/-NCD) 栄養参照量(定義, NRVs-R/-NCD)	CAC/GL 2-1985 Article 2.6, 3.4.4	Definitions for NRVs 食事等摂取基準
Nutrient Declaration (Application: Mandatory or Voluntary) 栄養表示(適用: 義務もしくは任意)	CAC/GL 2-1985 Article 3.1 Mandatory	Voluntary, Mandatory when nutrition/health claims made 任意、栄養／健康強調表示を行う場合 必須
Food Categories Applied 適用される食品カテゴリー	All Prepackaged Foods	All prepackaged foods 全ての包装済み食品

<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/COM/EastAsia/index.html>

Investigation Format for Nutrition Labelling Regulations-1.1

Nutrition Labelling	Codex	Japan
Exemptions (Food Categories) 適用除外(食品カテゴリー)	National Authority	Not applicable 適用無し
(Size of Food Business Operators) (食品事業者の規模)	National Authority	Not applicable 適用無し
Listing of Nutrients (Nutrients, Order) 栄養成分リスト(栄養成分、記載順)	CAC/GL 2-1985 Article 3.2	Energy, Protein, Fat, Carbohydrate (Available Carbohydrate and D.F.) and Sodium 熱量、たんぱく質、脂肪、炭水化物(糖質と食物繊維の表示可)、ナトリウム
Optional Ingredients その他の栄養成分	CAC/GL 2-1985 Article 3.2.2	Any other nutritional constituent その他の全ての栄養成分

Investigation Format for Nutrition Claims Regulations-2

Nutrition Claims	Codex	Japan
Relevant Laws/Regulations 関連法規／規則	CODEX STAN 1-1985 CAC/GL 1-1979 CAC/GL 23-1997	Food Sanitation Act (1947) Health Promotion Act (2002) Food Labelling Act (2013) 食品衛生法(1947) 健康増進法(2002) 食品表示法(2013)
Definitions (Nutrient Content/Comparative Claims) 定義(栄養素含有量/比較強調表示)	CAC/GL 23-1997 Article 2	Identical to Codex Guidelines コーデックスと同じ
Nutrient Content Claims 栄養素含有量強調表示	CAC/GL 23-1997 Article 5	Conditions defined 強調表示の基準が定められている
Nutrient Comparative Claims 栄養素比較強調表示	CAC/GL 23-1997 Article 6	Conditions defined 強調表示の基準が定められている
Non-addition Claims (Non-addition of Sugars/Sodium Salts) 無添加表示(糖類／ナトリウム塩の無添加)	CAC/GL 23-1997 Article 7	Conditions defined 強調表示の基準が定められている

Investigation Format for Health Claims Regulations-3.1

Health Claims	Codex	Japan
Relevant Laws/Regulations 関連法規／規則	CODEX STAN 1-1985 CAC/GL 1-1979 CAC/GL 23-1997	Food Sanitation Act (1947) Health Promotion Act (2002) Food Labelling Act (2013) 食品衛生法(1947) 健康増進法(2002) 食品表示法(2013)
Definitions (Collective Name of Foods with Health Claims, if applicable) 定義(健康強調表示をした食品を指す名称が有る場合はその名称)	CAC/GL 23-1997 Article 2	Foods with Health Claims (FHC) 保健機能食品(栄養機能食品および特定保健用食品)
Nutrient Function Claims (Collective Name of the Foods, if applicable) 栄養機能強調表示(栄養機能表示をした食品を指す名称が有る場合はその名称)	CAC/GL 23-1997 Article 2	Foods with Nutrient Function Claims (FNFC), applicable to all prepackaged foods including Tablet or Capsule type of products 栄養機能食品:錠剤、タブレット型を含むすべての食品
Other Function Claims (Collective Name of the Foods, if applicable) その他の機能強調表示(他の機能表示をした食品を指す名称が有る場合はその名称)	CAC/GL 23-1997 Article 2	Foods for Specified Health Uses (FOSHU), applicable to all prepackaged foods 特定保健用食品:全ての包装済み食品

Investigation Format for Health Claims Regulations-3.2

Health Claims	Codex	Japan
Scientific Substantiation of Health Claims 健康強調表示に関する科学的実証	CAC/GL 23-1997 Article 8,	Documentation required 証拠書類(申請)が必要
Process for the Substantiation (Organizational Systems, Governing Authority/Agency/Commission) 実証のプロセス(審査組織の構造、政府所管当局/官庁/委員会)	CAC/GL 23-1997 Annex Article 3.1	Consumer Affairs Agency→ Consumer Commission (substantiation)→ Food Safety Commission (safety assessment)→ Ministry of Health, Labour and Welfare → CAA 消費者庁⇒消費者委員会(健康効果) ⇒食品安全委員会(安全性)⇒厚生労働省(表示/薬事法)⇒消費者庁
Criteria for the Substantiation and/or Consideration of the Evidence 実証の基準および/または効果の評価	CAC/GL 23-1997 Annex Article 3.2, 3.3	Documentation required 証拠書類(申請)が必要
Specific Safety Concerns 特定の安全性に関する事項	CAC/GL 23-1997 Annex Article 4	Documentation required 証拠書類(申請)が必要
Re-evaluation 再評価	CAC/GL 23-1997 Annex Article 5	Not specified 規定無し

Investigation Format for Health Claims Regulations-3.3

Health Claims	Codex	Japan
Relevant Laws/Regulations for Dietary/Food/Health Supplements ダイエタリー/フード/ヘルス サプリメントに関する関連法規/規則	CAC/GL 55-2005	Not specifically defined, Treated in the same manner as foods 特定の規定は無い、通常の食品として取り扱われる
Definitions (Dietary Supplements, and/or Food Supplements, and/or Health Supplements) 定義(ダイエタリーサプリメントおよび/またはフードサプリメントおよび/またはヘルスサプリメント)	CAC/GL 55-2005 Article 2	Not specifically defined Treated in the same manner as foods 特定の規定は無い、通常の食品として取り扱われる
Administrations/Compliances for the Supplements (Governing Authorities/Agencies) サプリメントの行政/順守(政府所管当局/官庁)	Competent Authorities	Not specifically defined Treated in the same manner as foods 特定の規定は無い、通常の食品として取り扱われる(消費者庁、厚生労働省)

健康強調表示	韓国
ダイエタリー／フード／ヘルス サプリメントに関する関連法規／規則	健康機能食品法が、製品の形態に関わらず健康強調表示を行うすべての食品に適用される
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	法的に定義されているのは健康機能食品のみである。“人体に有効な機能性を持った素材や成分を使用して製造(加工を含む)した食品”と定義されている
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	健康機能食品法が、製品の形態に関わらず健康強調表示を行うすべての食品に適用される

健康強調表示	中国
ダイエタリー／フード／ヘルス サプリメントに関する関連法規／規則	健康食品の登録に関する食品安全法の規定(暫定)
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	栄養素サプリメント、ビタミンやミネラルを補足する目的である
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	中国食品薬品管理局

健康強調表示	台湾
ダイエタリー／フード／ヘルス サプリメントに関する関連法規／規則	特に規定せず、食品と同様に扱う
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	特に規定せず、食品と同様に扱う
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	特に規定せず、食品と同様に扱う

健康強調表示	インド
ダイエタリー／フード／ヘルス サプリメントに関する関連法規／規則	詳細な定義は定められていない 食品と同様に取り扱われる 新しい規則が正式化に向けて準備されている
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	詳細な定義は定められていない 食品と同様に取り扱われる
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	詳細な定義は定められていない 食品と同様に取り扱われる

健康強調表示	インドネシア
ダイエタリー／フード／ヘルス サプリメントに関する関連法規／規則	<p>ダイエタリーサプリメントはヘルスサプリメントとして規制されている。</p> <p>ヘルスサプリメントは、国家医薬品食品監督庁のDeputy of Traditional Medicine, Cosmetic and Complement Product Controlの下で規制されている。</p> <p>食品補助食品の管理に関する国家医薬品食品監督庁長官命令HK.00.05.23.3644(2004) (Ketentuan Pokok Pengawasan Suplemen Makanan)</p>
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	<p>フードサプリメントは食品の栄養的ニーズを補完する目的で、以下の成分を1種類以上含む製品:ビタミン、ミネラル、アミノ酸、または濃縮された量で栄養的価値かつ／または生理作用を持つ他の素材(植物性もしくは非植物性)</p>
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	<p>インドネシア共和国の国家医薬品食品監督庁(NADFCあるいはBPOM)</p>

ヘルスクレーム	シンガポール
ダイエタリー／フード／ヘルス サプリメントに関する関連法規／規則	<p>「ダイエタリーサプリメント」と表示されている製品は、その調合設計、用量、使用に関する指示及び処方に応じて、健康補助品、食品、伝統的な医薬品又はその他の区分の食品に分類することができる。シンガポール農産物・食料・獣医学的管理監督庁及び保健科学庁(HSA)の両者により開発された食品保健製品分類系統は、保健製品及び食品の分類についてのより詳しい情報を提供している。この情報は、以下のウェブサイトでご覧することができる。</p> <p>http://www.ava.gov.sg/FoodSector/ImportExportTransOfFood/ProcessedFood/</p>
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	<p>現時点において、用語としての「食事／食品／健康補助」に対する法的な定義はシンガポール国内には存在しない。しかし、保健科学庁は、以下の「健康補助に関するガイドライン」で、健康補助に関する定義の策定作業をおこなっている。</p>
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	<p>規定無し</p>

健康強調表示	タイ
ダイエタリー／フード／ヘルスサプリメントに関する関連法規／規則	省告示第293号：フードサプリメント http://iodinethailand.fda.moph.go.th/fda/new/images/cms/top_upload/1169706519_no.293.pdf
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	フードサプリメントとは、原材料として通常の食品に含まれる栄養素やその他成分の他に、消費者が摂取する製品であって、錠剤、カプセル、粉末、フレーク、液体、およびその他の形状からなる。健康増進効果を期待する消費者が日常的に摂取する食品ではない
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	タイFood and Drug Administration (食品医薬品局)

健康強調表示	フィリピン
ダイエタリー／フード／ヘルスサプリメントに関する関連法規／規則	ダイエタリーサプリメントに関する健康および栄養強調表示は、通常の食品と同等の規制を受ける
定義(ダイエタリーサプリメントおよび／またはフードサプリメントおよび／またはヘルスサプリメント)	食事を補助することを目的とした、以下の1種類以上の食品成分を含有する加工食品製品： 最新版のフィリピン・エネルギー・栄養素推奨摂取量、或いは、国際的に合意に至っている1日当り最小摂取量に合致し、1日当りの合計摂取量を増加させるためのビタミン、ミネラル、アミノ酸、ハーブ、或いは、その他の植物性、動物性、人工又は天然の食品素材。通常、カプセル、錠剤、液体、ジェル、粉末又は丸薬の形態であり、通常の食品、食事または食物の一部として、或いは、薬及び薬品の代替として使用することは意図されていない
サプリメントの行政／順守(政府所管当局／官庁)	食品医薬品局

東アジアの食品等規格基準の調査と情報の共有化(II)

事業年度	調査事業内容	調査対象国	ワークショップ / 国際会議	日時 開催場所	参加 者数
平成21年度 (I)	食品関連法規の体系、即席めん、炭酸飲料、調理冷凍食品の規格・基準	コーデックス、韓国、中国、マレーシア、シンガポール、フィリピン	「東アジアの食品等の規格基準の調査と結果の共有化」	平成22年3月29日 東京(日本)	163名
平成22年度 (II)	上記に加えて、牛乳の規格基準及び分析方法	上記に加えて、インドネシア、タイ、ベトナム	「アジア・太平洋地域の食品規格基準、資源・環境対策に係る情報の共有化」	平成23年3月4日 バンコク(タイ)	115名
平成23年度 (III)	上記に加えて、食品添加物の法体系及び使用基準、ハラール制度	上記に同じ	「アジア地域の食品規格基準に係る情報の共有化」	平成24年2月21日 ジャカルタ(インドネシア)	127名
平成24年度 (IV)	上記に同じ(ただし、ハラール制度を除く)	上記に加えて、インド及び近隣諸国(スリランカ、ネパール、バングラデシュ)	「インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究」	平成25年2月22日 東京	80名
平成25年度 (V)	上記に加えて、栄養表示、栄養機能強調表示、健康強調表示及びサプリメントの制度	上記に加えて、カンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾	「食品の安全と基準」及びラウンドテーブルディスカッション「食品安全に関わる課題と挑戦」	平成26年3月4,5日 ヤンゴン(ミャンマー)	68名
平成26年度 (IV)	上記に加えて、調味料類、清涼飲料水、健康食品、乳製品、アルコール飲料、食品表示及び残留農薬基準及びこれまでの調査結果のデータベース化	上記に加えて、香港	「食品管理システムの社会基盤の必要性：地域のハーモナイゼーションへの道」	平成26年12月9,10日 デリー(インド)	108名
			「食品産業のグローバル展開～アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース～」	平成27年2月19日 東京	


ワークショップ 「東アジアの食品等の規格基準の調査と結果の共有化」

平成22年3月29日 東京



International Conference for Sharing Information on Food Standards and Resource and Environmental Conservation for Food Industries in Asia Pacific

Challenges and Opportunities for Food Safety & Human Health



March 4, 2011
Pathumwan Princess Hotel
Bangkok, Thailand

Sponsor:
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
(MAFF)
Japan

Supporters:
Food and Drug
Administration (FDA)
Thailand

National Bureau of Agricultural Commodity and Food Standards (ACTS)
Thailand

Organizer:
ILSI
International Life Sciences Institute

International Life Sciences Institute (ILSI) Japan

In collaboration with
ILSI Focal Point in China
ILSI Korea
ILSI Southeast Asia Region

国際会議 「アジア・太平洋地域の食品規格基準、 資源・環境対策に係る情報の共有化」

平成23年3月4日 バンコク(タイ)



国際会議 「アジア地域の食品規格基準に係る情報の共有化」

平成24年2月21日
ジャカルタ(インドネシア)



「インド、バングラデシュ、ネパール、スリランカにおける食品及び食品添加物の法的枠組みと事例研究」

平成25年2月22日 東京



「食品の安全と基準」及び ラウンドテーブルディスカッション 「食品安全に関わる課題と挑戦」

平成26年3月4,5日
ヤンゴン(ミャンマー)



March 4-5, 2014 | Sedona Hotel, Yangon, Myanmar



国際会議
「食品管理システムの社会基盤の必要性:地域のハーモナイゼーションへの道」

平成26年12月9,10日
デリー(インド)

Information Brochure

International Conference on
Infrastructure Needs For A Food Control System:
Roadmap For Regional Harmonization

December 9-10, 2014
Hotel Royal Plaza, 19 Ashoka Road, New Delhi -110001

Organized By
ILSI-India and ILSI Japan




With Support From
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), Japan




In Association With
Food Safety and Standards Authority of India (FSSAI), GOI



Co-sponsored By
Export Inspection Council (EIC), Ministry of Commerce, GOI



Food Safety and Standards Authority of India
NEWSLETTER Vol-1 Issue-2
January 2015



Building healthy INDIA with safe

सुरक्षित आहार, स्वास्थ्य का आ



FROM L TO R: Ms. Rekha Sinha, Executive Director, International Life Sciences Institute-India, Mr. N M Kejrival, President, International Life Sciences Institute-India, Mr. K. Chandramouli, Chairman, Food Safety and Standards Authority of India, Ministry of Health and Family Welfare, GOI, Mr. D. H. Pai Panandiker, Chairman, International Life Sciences Institute-India, Dr. A M Gondane, Joint Secretary (SAARC & BC), Ministry of External Affairs, Government of India, and Mr. Hiroaki Hamano, Advisor, International Life Sciences Institute (ILSI) Japan.

平成26年度食品産業グローバル展開:アジア地域の食品規格等調査とデータベース化

調査対象国	法的枠組	食品規格・基準/分析法*	食品添加物/使用基準	調味料類	清涼飲料水	健康食品	乳製品	アルコール飲料	食品表示	残留農薬
コーデックス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アセアン諸国	インドネシア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	マレーシア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	シンガポール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	タイ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フィリピン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ベトナム	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	カンボジア	◎	◎	◎						
	ブルネイ	◎	◎	◎						
	ミャンマー	◎	◎	◎						
	ラオス	◎	◎	◎						
中国	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
韓国	◎	◎	◎	◎	◎				◎	
インド	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎
スリランカ	◎	◎	◎							
ネパール	◎	◎	◎							
バングラデシュ	◎	◎	◎							
台湾	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎
香港	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎

◎ 平成21～24年度東アジア海外展開支援事業及び平成25年度グローバル革新支援事業において実施 * 炭酸飲料、即席めん、調理冷凍食品、牛乳
 ◎ 平成26年度事業における調査対象国及び個別食品分類

データベース『各国の食品・添加物等の規格基準』

平成26年度の事業において、これまでに実施した農山漁村6次産業化対策事業、東アジア食品産業海外展開支援事業(平成21～24年度)及び平成25年度グローバル革新支援事業の調査(<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/COM/Com-W.php>)と整合性のある形で取りまとめ、収集した各種情報を検索可能な情報としてデータベース化。

「各国の食品・添加物等の規格基準」 ホームページについて

株式会社コミュニケーション・エンジニアーズ
転法輪 篤

平成26年度食品産業グローバル展開:アジア地域の食品規格等調査とデータベース化

調査対象国	法的枠組	食品規格・基準/分析法*	食品添加物/使用基準	調味料類	清涼飲料水	健康食品	乳製品	アルコール飲料	食品表示	残留農薬
コーデックス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ASEAN諸国	インドネシア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	マレーシア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	シンガポール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	タイ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フィリピン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ベトナム	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	カンボジア	◎	◎	◎						
	ブルネイ	◎	◎	◎						
	ミャンマー	◎	◎	◎						
	ラオス	◎	◎	◎						
中国	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
韓国	◎	◎	◎	◎	◎				◎	
インド	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎
スリランカ	◎	◎	◎							
ネパール	◎	◎	◎							
バングラデシュ	◎	◎	◎							
台湾	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎
香港	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎

◎ 平成21～24年度東アジア海外展開支援事業及び平成25年度グローバル革新支援事業において実施 * 炭酸飲料、即席めん、調理冷凍食品、牛乳
◎ 平成26年度事業における調査対象国及び個別食品分類

- 食品法的枠組
- 食品添加物／使用基準
- 食品表示
- 残留農薬
- 食品規格・基準

- 食品法的枠組
- 食品添加物／使用基準
- 食品表示
- 残留農薬
- 食品規格・基準 -----▶
- 調味料類
- 清涼飲料水
- アルコール飲料
- 即席めん
- 健康食品
- 乳・乳製品
- 冷凍食品



デモ



各国の食品・添加物等の規格基準

このページでは、アジア諸国の食品等に係る法規、規格及び規制について調査した情報を公開しています。調査の詳しい情報については、こちらをご覧ください。

農林水産省食料産業局輸出促進グループ

- 国または地域を指定してください
- 食品法的枠組
 - 食品添加物／使用基準
 - 食品表示
 - 残留農薬
 - 食品規格・基準
 - 調味料類
 - 清涼飲料水
 - アルコール飲料
 - 即席めん
 - 健康食品
 - 乳・乳製品

 コーデックス	 インド	 スリランカ
 ネパール	 バングラデシュ	 韓国
 中国	 インドネシア	 シンガポール
 タイ	 フィリピン	 ベトナム
 マレーシア	 台湾	 カンボジア




このページでは、アジア諸国の食品等に係る法規、規格及び規制について調査した情報を公開しています。調査の詳しい情報については、こちらをご覧ください。

農林水産省食料産業局輸出促進グループ

- 国または地域を指定してください
- 食品法的枠組
 - 食品添加物／使用基準
 - 食品表示
 - 残留農薬
 - 食品規格・基準
 - 調味料類
 - 清涼飲料水
 - アルコール飲料
 - 即席めん
 - 健康食品
 - 乳・乳製品
 - 冷凍食品

 コーデックス	 インド	 スリランカ
 ネパール	 バングラデシュ	 韓国
 中国	 インドネシア	 シンガポール
 タイ	 フィリピン	 ベトナム
 マレーシア	 台湾	 カンボジア
 ブルネイ	 ミャンマー	 ラオス
 香港		

 インド
食品法の枠組
食品添加物/使用基準
食品表示
残留農薬
食品規格・基準
— 調味料類
— 清涼飲料水
— アルコール飲料
— 即席めん
— 健康食品
— 乳・乳製品
— 冷凍食品

1 食品行政

インドにおいては、食品安全基準法（2006年）（The Food Safety Standard Act, 2006：FSS法）の下に設立されたインド食品安全基準局（Food Safety and Standard Authority of India: FSSAI）が、食品規格、安全、および衛生管理を管轄する。FSSAIは、ヒトの消費に供するための安全で健全な食品を確実に安定供給する目的で、科学に基づく食品規格を策定して食品の製造、貯蔵、流通、販売および輸入を規制するために設立された。本法の目的はまた、様々な水準かつ多数部署による管理を単一命令系統へと変更することにより、食品安全と規格に関するすべての問題に対して唯一の評価基準を設定することである。

一方、多様な食品規格を含む製品認証システムはインド基準庁（Bureau of Indian Standards：BIS）が管轄している。BISは消費者問題・食糧・公的分配省の管理下にあり、本省はいくつかの法により食品行政に携わっている。さらに、食品規制に関わる法には女性・児童発育省、農業省、原子力局、および原子力規制委員会の管轄下にあるものもある。1988年7月に設立された食品加工工業省は、農村部の雇用機会創出、農業従事者による近代的な技術の利用による農業従事者の収益増加、貿易黒字の実現、および加工食品の需要の喚起を視野に入れ、強固で活力のある食品加工業界の育成を担当する政府の主要中枢機関である。食品加工工業省からはFSSAIへ職員が派遣されている。食品安全に関与する全行政機関を表1に示す。

表1：インドの食品行政機関

行政機関	担当部局	関連法律 ^(a)
健康家族福祉省	FSSAI ^(b)	・食品安全基準法（FSS法）（2006年） ・食品安全基準規則（FSS規則）（2011年） ・食品安全基準規程（FSS規程）（2011年）
消費者問題・食糧・公的分配省	BIS ^(c)	・インド基準庁法（1986年） ・度量衡基準法（1976年） ・度量衡基準規程（1977年）
女性・児童発育省		・乳児用代用乳・哺乳瓶・乳児食（生産・供給・流通規制）法（1992年、2003年改正）
女性・児童発育省		・乳児用代用乳・哺乳瓶・乳児食（生産・供給・流通規制）法（1992年、2003年改正）
農業省		・農産物（格付けおよび表示）法（1937年） ・格付けおよび表示一般規程（1988年）
食品加工工業省		・（現在の「FSS法（2006年）」の原案は本省の作成である）
原子力委員会	DAE ^(d)	・原子力法（1962年）
	AERB ^(e)	・原子力（食品照射管理）規程（1996年）

(a)行政機関に関連する全法律については、本報告の「1.3. 食品関連法規」に詳述する。

(b)FSSAI：インド食品安全基準局

(c)BIS：インド基準庁

(d)DAE：原子力局

(e)AERB：原子力規制委員会

1.1 FSSAIの設立

FSSAIは健康家族福祉省の管理下に、独立した行政機関として設立された。FSSAIの長官および最高執行官はインド政府により任命される。長官は、現在および過去においてインド政府の事務長官より下の地位ではない。

1.2. FSSAIの重要な任務

FSSAIは以下の重要な役割を担う（図1）。

食品の規格および指針を定めるための法規制を立案する。


食品事業の食品安全マネジメントシステムの認証に携わる認証機関の認定の機構および指針を定める。

検査機関の認定および認定検査機関の通知の手順と指針を定める。

食品安全および栄養に対して直接的または間接的に影響を及ぼす政策と規則の立案に関し、中央政府および州政府に科学的助言と技術的支援を提供する。

食品の国際技術規格の策定に寄与する。

食品安全および食品規格に関する一般の認識を高める。

 インド
食品法的枠組
食品添加物／使用基準
食品表示
残留農薬
食品規格・基準
— 調味料類
— 清涼飲料水
— アルコール飲料
— 即席めん
— 健康食品
— 乳・乳製品
— 冷凍食品



ご意見はこちら



文書をプリント


1 食品行政

インドにおいては、食品安全基準法（2006年）（The Food Safety Standard Act, 2006：FSS法）の下に設立されたインド食品安全基準局（Food Safety and Standard Authority of India: FSSAI）が、食品規格、安全、および衛生管理を管轄する。FSSAIは、ヒトの消費に供するための安全で健全な食品を確実に安定供給する目的で、科学に基づく食品規格を策定して食品の製造、貯蔵、流通、販売および輸入を規制するために設立された。本法の目的はまた、様々な水準かつ多数部署による管理を単一命令系統へと変更することにより、食品安全と規格に関するすべての問題に対して唯一の評価基準を設定することである。

一方、多様な食品規格を含む製品認証システムはインド基準庁（Bureau of Indian Standards：BIS）が管轄している。BISは消費者問題・食糧・公的分配省の管理下にあり、本省はいくつかの法により食品行政に携わっている。さらに、食品規制に関わる法には女性・児童発育省、農業省、原子力局、および原子力規制委員会の管轄下にあるものもある。1988年7月に設立された食品加工工業省は、農村部の雇用機会創出、農業従事者による近代的な技術の利用による農業従事者の収益増加、貿易黒字の実現、および加工食品の需要の喚起を視野に入れ、強固で活力のある食品加工業界の育成を担当する政府の主要中枢機関である。食品加工工業省からはFSSAIへ職員が派遣されている。食品安全に関与する全行政機関を表1に示す。

表1：インドの食品行政機関

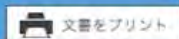
行政機関	担当部局	関連法律 ^(a)
健康家族福祉省	FSSAI ^(b)	・食品安全基準法（FSS法）（2006年） ・食品安全基準規則（FSS規則）（2011年） ・食品安全基準規程（FSS規程）（2011年）
消費者問題・食糧・公的分配省	BIS ^(c)	・インド基準庁法（1986年） ・度量衡基準法（1976年） ・度量衡基準規程（1977年）
女性・児童発育省		・乳児用代用乳・哺乳瓶・乳児食（生産・供給・流通規制）法（1992年、2003年改正）

 インド
食品法的枠組
食品添加物／使用基準
食品表示
残留農薬
食品規格・基準
— 調味料類
— 清涼飲料水
— アルコール飲料
— 即席めん
— 健康食品
— 乳・乳製品
— 冷凍食品

食品表示



ご意見はこちら



文書をプリント

食品表示

[Food Safety And Standards \(Packaging And Labelling\) Regulations, 2011.](#)

参考：包装済み食品の表示

FSS規則（包装および表示）（2011年）には、種々の一般および特別な表示要件がある。その中でも、ベジタリアンとノンベジタリアン食品表示は、最もユニークな一般表示要件の一つである。

1.2:定義—1.2.1: 文脈上他の意味に解すべき場合を除き本規則中では;

7. ノンベジタリアン食品とは、鳥、淡水あるいは海洋動物あるいは卵あるいはあらゆる動物由来の製品を含む動物の全てあるいは一部を原材料として含む食品。ただし乳あるいは乳製品を除く。

11. ベジタリアン食品とは1.2.1(7)に定義されたノンベジタリアン食品以外の食品

2.2.2：包装済み食品の表示

4. ベジあるいはノンベジに関する表示—

(i) 全てのノンベジタリアン食品の包装は、その製品がノンベジタリアン食品であることを示すために、下記に規定された記号およびカラーコードにより、その旨の表示をしなければならない。記号は、下記に示したように、茶色に塗りつぶした円からなり、直径は規則2.2.2(4)(iv)の表で規定された最少サイズ以上でなければならない。茶色の正方形の外枠の内側には円の直径の2倍の辺がなければならない。



品法的枠組

品添加物／使用基準

品表示

留農薬

品規格・基準

調味料類

清涼飲料水

アルコール飲料

即席めん

健康食品

乳・乳製品

冷凍食品

食品表示

[Food Safety And Standards \(Packaging And Labelling\) Regulations, 2011](#)

参考：包装済み食品の表示

FSS規則（包装および表示）（2011年）には、種々の一般的および特別な表示要件も、ベジタリアンとノンベジタリアン食品表示は、最もユニークな一般表示要件の

1.2:定義—1.2.1: 文脈上他の意味に解すべき場合を除き本規則中では;

7. ノンベジタリアン食品とは、鳥、淡水あるいは海洋動物あるいは卵あるいはあらゆる製品を含む動物の全てあるいは一部を原材料として含む食品。ただし乳あるいは乳製品を除く。
11. ベジタリアン食品とは1.2.1(7)に定義されたノンベジタリアン食品以外の食品

2.2.2：包装済み食品の表示

4. ベジあるいはノンベジに関する表示—

(i) 全てのノンベジタリアン食品の包装は、その製品がノンベジタリアン食品であるに、下記に規定された記号およびカラーコードにより、その旨の表示をしなければならず、下記に示したように、茶色に塗りつぶした円からなり、直径は規則2.2.2(4)(iv)

食品法的枠組

食品添加物／使用基準

食品表示

残留農薬

食品規格・基準

調味料類

清涼飲料水

アルコール飲料

即席めん

健康食品

乳・乳製品

冷凍食品

食品表示

[Food Safety And Standards \(Packaging And Labelling\) Regulations, 2011](#)

参考：包装済み食品の表示

FSS規則（包装および表示）（2011年）には、種々の一般的および特別な表示要件がある。その中でも、ベジタリアンとノンベジタリアン食品表示は、最もユニークな一般表示要件の一つである。

1.2:定義—1.2.1: 文脈上他の意味に解すべき場合を除き本規則中では;

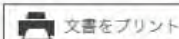
7. ノンベジタリアン食品とは、鳥、淡水あるいは海洋動物あるいは卵あるいはあらゆる動物由来の製品を含む動物の全てあるいは一部を原材料として含む食品。ただし乳あるいは乳製品を除く。
11. ベジタリアン食品とは1.2.1(7)に定義されたノンベジタリアン食品以外の食品

2.2.2：包装済み食品の表示

4. ベジあるいはノンベジに関する表示—

(i) 全てのノンベジタリアン食品の包装は、その製品がノンベジタリアン食品であることを示すために、下記に規定された記号およびカラーコードにより、その旨の表示をしなければならない。記号は、下記に示したように、茶色に塗りつぶした円からなり、直径は規則2.2.2(4)(iv)の表で規定された最少サイズ以上でなければならない。茶色の正方形の外枠の内側には円の直径の2倍の辺がなければならない。





インド：食品安全基準（包装および表示）規則2011年

ニューデリー、2011年8月1日付

健康家族福祉省（インド食品安全基準局）告示

F.No. 2-15015/30/2010 インド食品安全基準局（Food Safety and Standards Authority of India）は、食品安全基準法2006年（Food Safety and Standards Act, 2006）（2006年第34号）第23条に示す通り、第92条第（2）項第（k）号によって付与された権限を行使し、食品安全基準（包装および表示）規則2011年（Food Safety and Standards [Packaging and Labelling] Regulations, 2011）に関連する限度内で、食品安全基準規則（Food Safety and Standards Regulations）策定を提案する。

本規則草案は、2010年10月20日付インド特別官報第III部第4項1～776ページに一括公開し、上記告示を記載した官報の公開日から30日間の期間の終了前に、本規則によって影響を受ける可能性があるすべての関係者から異議や提案を募集した。

上記官報は2010年10月21日に一般公開した。

インド食品安全基準局は、上記指定期間内に本規則草案に関して利害関係者から得た異議や提案を考慮し、本規則をまとめた。

よって、インド食品安全基準局はここに以下の規則を定める。



インド

食品法的枠組

食品添加物／使用基準

食品表示

残留農薬

食品規格・基準

調味料類

清涼飲料水

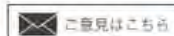
アルコール飲料

即席めん

健康食品

乳・乳製品

冷凍食品



ご意見はこちら



文書をプリント

1 食品行政

インドにおいては、食品安全基準法（2006年）（The Food Safety Standard Act, 2006：FSS法）の下に設立されたインド食品安全基準局（Food Safety and Standard Authority of India: FSSAI）が、食品規格、安全、および衛生管理を管轄する。FSSAIは、ヒトの消費に供するための安全で健全な食品を確実に安定供給する目的で、科学に基づく食品規格を策定して食品の製造、貯蔵、流通、販売および輸入を規制するために設立された。本法の目的はまた、様々な水準かつ多数部署による管理を単一命令系統へと変更することにより、食品安全と規格に関するすべての問題に対して唯一の評価基準を設定することである。

一方、多様な食品規格を含む製品認証システムはインド基準庁（Bureau of Indian Standards：BIS）が管轄している。BISは消費者問題・食糧・公的分配省の管理下にあり、本省はいくつかの法により食品行政に携わっている。さらに、食品規制に関わる法には女性・児童発育省、農業省、原子力局、および原子力規制委員会の管轄下にあるものもある。1988年7月に設立された食品加工工業省は、農村部の雇用機会創出、農業従事者による近代的な技術の利用による農業従事者の収益増加、貿易黒字の実現、および加工食品の需要の喚起を視野に入れ、強固で活力のある食品加工工業界の育成を担当する政府の主要中枢機関である。食品加工工業省からはFSSAIへ職員が派遣されている。食品安全に関与する全行政機関を表1に示す。

表1：インドの食品行政機関

行政機関	担当部局	関連法律 ^(a)
健康家族福祉省	FSSAI ^(b)	・食品安全基準法（FSS法）（2006年） ・食品安全基準規則（FSS規則）（2011年） ・食品安全基準規程（FSS規程）（2011年）
消費者問題・食糧・公的分配省	BIS ^(c)	・インド基準庁法（1986年） ・度量衡基準法（1976年） ・度量衡基準規程（1977年）
女性・児童発育省		・乳児用代用乳・哺乳瓶・乳児食（生産・供給・流通規制）法（1992年、2003年改正）
		・農産物（格付けおよび表示）法（1937年）

インド

食品法的枠組

- 食品添加物/使用基準
- 食品表示
- 残留農薬
- 食品規格・基準
 - 調味料類
 - 清涼飲料水
 - アルコール飲料
 - 即席めん
 - 健康食品
 - 乳・乳製品
 - 冷凍食品

コーデックス	インド	スリランカ
ネパール	バングラデシュ	韓国
中国	インドネシア	シンガポール
タイ	フィリピン	ベトナム
マレーシア	台湾	カンボジア
ブルネイ	ミャンマー	ラオス
香港		

		・食品安全基準規程（FSS規程）（2011年）
消費者問題・食糧・公的分配省	BIS(c)	・インド基準庁法（1986年） ・度量衡基準法（1976年） ・度量衡基準規程（1977年）
女性・児童発育省		・乳児用代用乳・哺乳瓶・乳児食（生産・供給・流通規制）法（1992年、2003年改正）

シンガポール

食品法的枠組

- 食品添加物/使用基準
- 食品表示
- 残留農薬
- 食品規格・基準
 - 調味料類
 - 清涼飲料水
 - アルコール飲料
 - 即席めん
 - 即席めん
 - 健康食品
 - 乳・乳製品
 - 冷凍食品

[ご意見はこちら](#) [文書をプリント](#)

1 食品行政

シンガポールの食品規格、安全・衛生管理にあたる行政機関は国家開発省（Ministry of National Development）にある農業食品畜産庁（Agri-Food and Veterinary Authority：AVA）に集約されている。AVAは食品に限らず、動物・ペット、農業・漁業といった広範囲な領域を管轄している。

2 食品法規体系と個別食品規格

図1に食品法規体系と個別食品規格の関連図を示した。

図1 食品法規体系と個別食品規格の概要関連図

行政機関	食品規格および関連法律
農業食品畜産庁（Agri-Food and Veterinary Authority：AVA）	食品販売法 <ul style="list-style-type: none"> 食品規則 <ul style="list-style-type: none"> 一般規定 <ul style="list-style-type: none"> 一般食品表示 栄養情報 誤解を招く記載 食品添加物 偶発的成分 規格および特別表示 <ul style="list-style-type: none"> 必要事項：226食品品目 食品施設規制
規格生産革新庁（Spring Singapore Standards, Productivity and Innovation Board） 通商産業省（Ministry of Trade and Industry：MTI）	シンガポール規格 <ul style="list-style-type: none"> 41個別食品規格
シンガポール広告基準局 [Advertising Singapore	シンガポール広告基準 (Code of Advertising Practice)

Authority : AVA)	食品添加物 偶発的成分 規格および特別表示 必要事項 : 226食品品目 ・ 食品施設規制
規格生産性革新庁 (Spring Singapore Standards, Productivity and innovation Board) 通商産業省 (Ministry of Trade and Industry : MTI)	シンガポール規格 ・ 41個別食品規格
シンガポール広告基準局 [Advertising Singapore Authority]	適正広告基準 (Code of Advertising Practice)
健康増進委員会 [Health Promotion Board]	栄養表示に関する手引書 (A handbook on Nutrition Labelling)

3 食品法 (Sale of Food Act)

AVAが一括管轄している。AVAはもともと一次生産物を管轄する局であったが、2000年に食品安全への対応等から食品関連物資の品質と安全を統括管理するよう再編成されている。

(1) 食品販売法-2002¹ (Sale of Food Act)

食品の健全性および純度の確保および健康に有害あるいは危害を与える物の販売・処分・使用を防止するための食品規格の定着、食品施設規制の規定を目的に制定された。

(2) 食品規則-2006²(Food Regulation)

販売法の付則は食品規則として編集され、改正および新たな規定の制定に伴い継続的に更新されている。食品規則は表示全般、食品添加物、汚染物質・微生物毒素、容器包装、照射食品等の詳細一般要件を規定、第4章に226品目に関する個別食品規格と特別表示必要事項を収載している(表1)。個別品目に関し、必要最低限の定義、成分規格、特別必要表示事項が規定されている。

1. Singapore - Sale of Food Act, http://www.ava.gov.sg/NR/rdonlyres/0CA18578-7610-4917-BB67-C7DF4B96504B/8725/Attach59_legislation_SaleofFoodAct.pdf

シンガポール
食品法的枠組
食品添加物/使用基準
食品表示
残留農薬
食品規格・基準
調味料類
清涼飲料水
アルコール飲料
即席めん
即席めん
健康食品
乳・乳製品
冷凍食品

ご意見はこちら

文書をプリント

食品規格・基準/清涼飲料水

(2) 炭酸飲料

食品規格・基準・分析法：

食品規則-2006では炭酸飲料のみの規格は設定されていない。一般的な清涼飲料に近い広範囲の品目を対象としているがソフトドリンクからの除外品目の幅が広いことが日本との相違点である。SSにおける炭酸・非炭酸飲料 (SS 62:1997) には炭酸飲料を含む広範囲の規格が設定されている(表10,11)。

表10 事例研究 (2) 炭酸飲料：食品規格・基準

規格項目	食品規則 (2006年9月1日現在)	SS 62:1997
規格の名称	清涼飲料	炭酸および非炭酸飲料
範囲	希釈せずにすぐに飲める風味付けされた飲料 ソーダ水・インディアン (またはキニーネ) トニック水・炭酸水 (風味付けの有無は問わない)、ジンジャービールおよび無害な薬草または植物に由来する物質から製造された飲料、果実飲料またはフルーツクラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> 果実風味の炭酸飲料 風味付けされた炭酸飲料 天然抽出物を含む飲料 風味付けおよび甘味を加えていない炭酸飲料
説明	<ul style="list-style-type: none"> 清涼飲料は、希釈の有無を問わず、ヒトが消費する飲料としての販売を意図した液体状または固体状の物質である 	<ul style="list-style-type: none"> ノンアルコール炭酸飲料とは、果汁使用の有無を問わず、精製糖またはシロップベース、香料および/または酸味料から製造される飲料であり、密封容器において炭酸ガスを人工的に溶け込ませたものである
		飲料水：無色、透明、無臭、好ましい味で、飲用として安全であること 炭酸ガス：最低純度99.5 (v/v)の炭酸ガス。無色、無臭であり、無関係な無機物または有機物を含まないこと

食品規格・基準／清涼飲料水

(2) 炭酸飲料

食品規格・基準・分析法：

食品規則-2006では炭酸飲料のみの規格は設定されていない。一般的な清涼飲料に近い広範囲の品目を対象としているがソフトドリンクからの除外品目の幅が広いことが日本との相違点である。SSにおける炭酸・非炭酸飲料（SS 62:1997）には炭酸飲料を含む広範囲の規格が設定されている（表10,11）。

表10 事例研究 (2) 炭酸飲料：食品規格・基準

規格項目	食品規則（2006年9月1日現在）	SS 62:1997
規格の名称	清涼飲料	炭酸および非炭酸飲料
	希釈せずにすぐに飲める風味付けされた飲料 ソーダ水・インディアン（またはキニーネ） トニック水・炭酸水	<ul style="list-style-type: none"> 果実風味の炭酸飲料 風味付けされた炭酸飲料



「各国の食品・添加物等の規格基準」

2015年3月19日 公開予定

「各国の食品・添加物等の規格基準」

2015年3月19日 公開予定

食 品 - 規 格

Database on ASEAN Food Additives & ILSI Activities Supporting ASEAN Food Standards Harmonization

Teoh Keng Ngee
Senior Manager,
Scientific Programs



ASEAN



Population: 605 million
Total GDP: USD 2.2 trillion
Per Capita GDP:
USD 55,182 (Singapore) -
USD 1,108 (Cambodia)



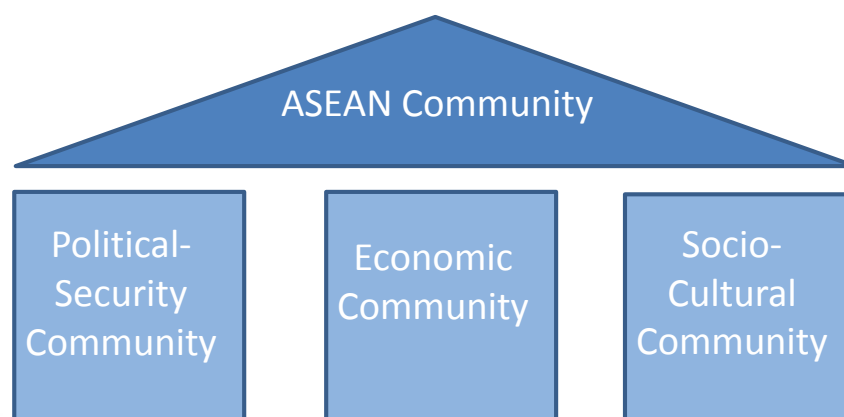
ASEAN Integration

- **1992**: ASEAN Member States sign the **ASEAN Free Trade Area Agreement (AFTA)** initiating first serious effort towards regional economic integration
- **1997**: Asian financial crisis provides catalyst for further regional integration as ASEAN Leaders set out **ASEAN Vision 2020** to provide foundational policy for an integrated regional community
- **2003**: ASEAN Leaders make the **Declaration of ASEAN Concord II** to announce intent to establish an **ASEAN Community** by 2020
- **2007**: ASEAN Leaders agree to bring forward the establishment of the ASEAN Community to 2015 and adopt the **ASEAN Charter** to formalize ASEAN as a legal entity under international law



ASEAN Community 2015

- Overall objective of the ASEAN Community is to ensure *“durable peace, stability and shared prosperity in the region”*
- The ASEAN Community will comprise three key pillars

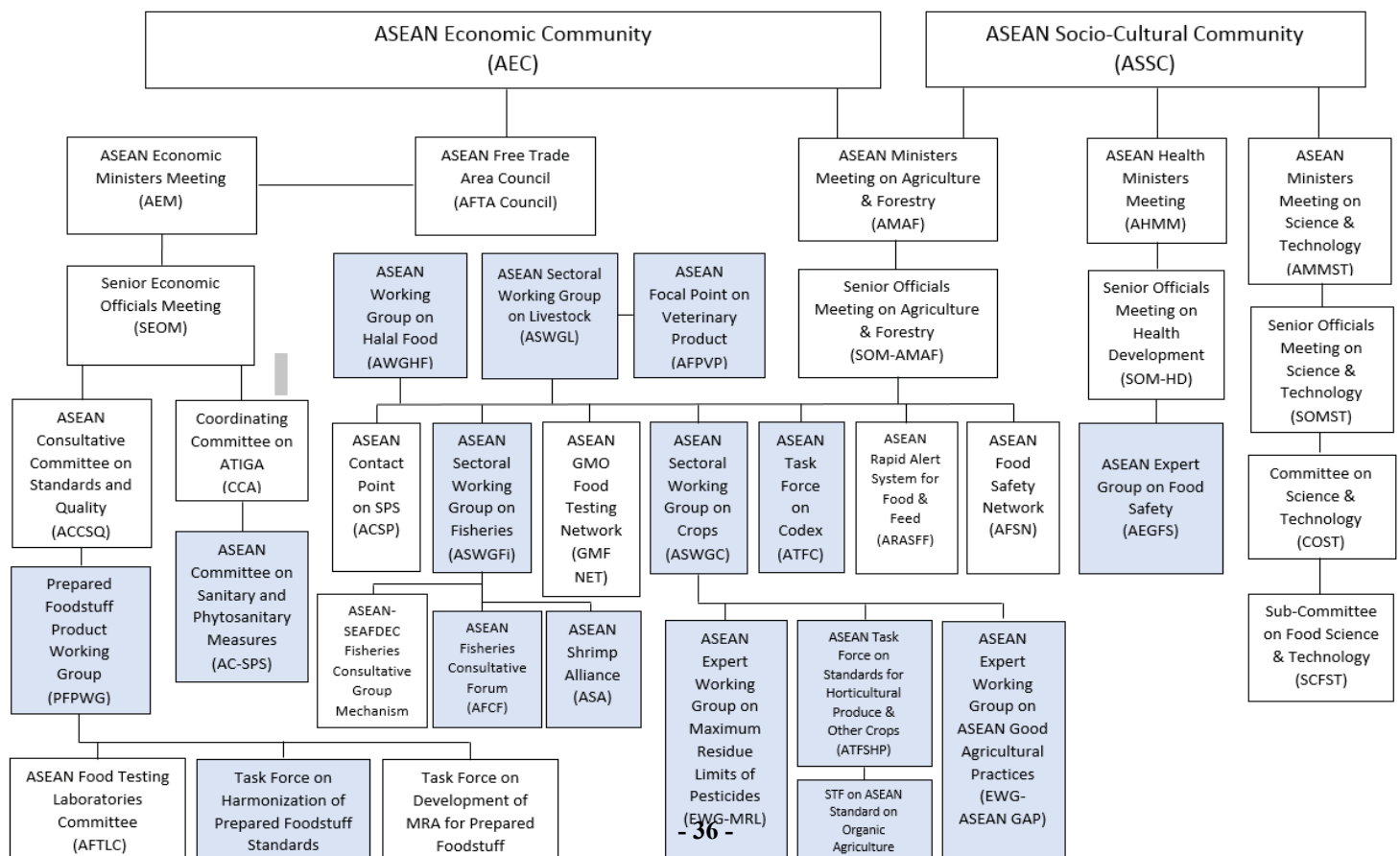


ASEAN Economic Community

- Major goals of the AEC is to transform ASEAN into a **single market** and production base
- Single market implemented through trade agreements, i.e. the **ASEAN Trade In Goods Agreement (ATIGA)**
- ATIGA addresses the handling of potential trade barriers such as TBT and SPS measures, based on WTO rules



Harmonization of Food Standards in ASEAN



Prepared Foodstuff Product Working Group

- Prepared Foodstuff Product Working Group (PFPWG) is one of the key ASEAN working bodies responsible for food standards harmonization, including by:
 - i) Harmonization of food standards
 - ii) Developing mutual recognition agreements
- Established a subsidiary [Task Force on Harmonisation of Prepared Foodstuff Standards](#) in 2008, which focuses on harmonization of standards for food additives, contaminants, etc.



ASEAN Expert Group on Food Safety

- [ASEAN Expert Group on Food Safety \(AEGFS\)](#) is another key ASEAN Working Group contributing to harmonization of food safety standards
- Implement capacity building projects to improve AMS & ASEAN food safety and technical infrastructure
- Established the [ASEAN Risk Assessment Centre \(ARAC\)](#) in 2014 to coordinate regional food safety risk assessment activities and provide scientific advice to ASEAN Working Groups to support harmonization



ILSI Support for ASEAN Food Standards Harmonization

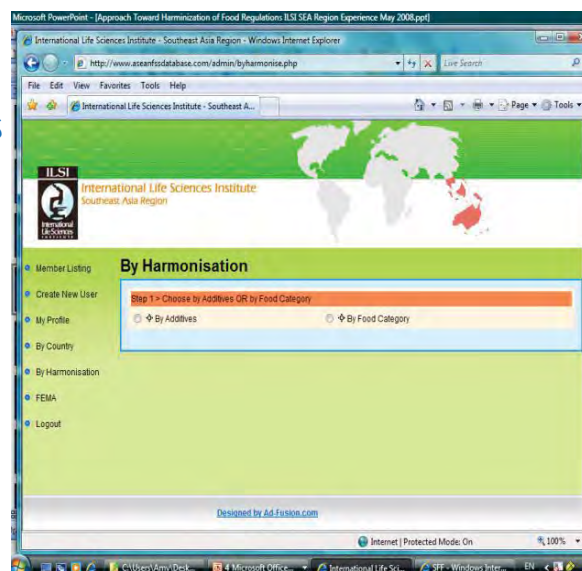
- ILSI SEA Region has been supporting ongoing efforts for harmonization of food standards, including:
 - i) ASEAN Food Safety Standards Database
 - ii) ASEAN Food Consumption Database for Exposure Assessment



ASEAN Food Safety Standards Database

ASEAN Food Safety Standards Database

- In 2003, ILSI Southeast Asia Region developed a database to support the work of food safety standards harmonization by ASEAN countries: **ASEAN Food Safety Standards Database**
- Includes information on food additive standards:
 - 45 selected additives (preservatives, sweeteners & colours)
 - includes data from 10 ASEAN countries
 - food categorization based on Codex General Standard for Food Additives (GSFA)



ASEAN Food Safety Standards Database

Timeline	Activity
Jan 2011	Decision to hand over AFSSD to PFPWG at 9 th ASEAN Food Safety Standards Harmonization Workshop
Feb 2011 - Dec 2011	Revamping and upgrading of AFSSD to meet current requirements and technical needs
Feb 2012	Shared at 10 th ASEAN Food Safety Standards Harmonization Workshop
June 2012	Shared at 15 th PFPWG meeting and agreed to be adopted by the PFPWG
December 2012 onwards	Shared updates on database development progress at PFPWG meetings



Website: www.aseanfssdatabase.com



ASEAN Food Safety Standards Database International Life Sciences Institute

Members

- Database Search
- Profiles

Administrators

- GSFA Codex *
- GSFA Categories *
- Additives Manager *

Members Login

Hi Super User,
[Log out](#)

About the ASEAN Food Safety Standards Database



The ASEAN Food Safety Standards Database is an initiative of the Working Group on ASEAN Food Safety Standards Harmonization.

The Working Group on ASEAN Food Safety Standards Harmonization consists of government authorities from Southeast Asian countries that make up the Association of Southeast Asian Nations (ASEAN), as well as regional and academic stakeholders. The main objective of the Working Group is to identify ways to harmonize food safety standards among ASEAN countries so that they are aligned with international standards whenever possible, such as Codex Alimentarius. Members of the Working Group meet annually to discuss harmonization efforts at the ASEAN Food Safety Standards Harmonization Workshop, which is facilitated by the International Life Sciences Institute (ILSI) Southeast Asia Region.

Currently, the ASEAN Food Safety Standards Database contains information on food additive standards in the ten ASEAN countries.

Participating Countries

- | | | | |
|--|-------------------|--|-----------|
| | Brunei Darussalam | | Cambodia |
| | Indonesia | | Laos |
| | Malaysia | | Myanmar |
| | Philippines | | Singapore |
| | Thailand | | Vietnam |



International Life Sciences Institute
Southeast Asia Region
9 Raffles Quay, #02-01
Singapore 048593

Disclaimer

(C) 2012 International Life Sciences Institute - ASEAN Food Safety Standards Database
Disclaimer: This database is made available solely for the purpose of information. It has no legal value. Users are advised to consult with their legal counsel for more information.



ASEAN Food Safety Standards Database International Life Sciences Institute

Members

Database Search

Profiles

Members Login

Hi demo,
[Log out](#)

Search

[PLACEHOLDER TEXT]: Describe the search function here

Additives

- [- ACIDITY REGULATORS -]**
- Acetic acid, glacial
- Ammonium acetate
- Ammonium carbonate
- Ammonium dihydrogen phosphate
- Ammonium hydrogen carbonate
- Ammonium hydroxide
- Ammonium lactate
- Ascorbic acid, L-
- Calcium acetate
- Calcium carbonate
- Calcium dihydrogen diphosphate
- Calcium gluconate
- Calcium hydrogen phosphate
- Calcium hydroxide
- Calcium lactate
- Calcium malate, DL-
- Calcium oxide
- Calcium polyphosphate
- Carnauba wax
- Citric acid
- Diammonium hydrogen phosphate
- Dicalcium diphosphate
- Dipotassium dihydrogen phosphate
- Dipotassium tartrate
- Disodium dihydrogen phosphate
- Disodium diphosphate
- Fumaric acid
- Glucono delta-lactone
- Hydrochloric acid
- L(+)-Tartaric acid
- Lactic acid, L-; D-, DL-

Food Categories

- 01.0.0.0 - DAIRY PRODUCTS AND ANALOGUES, EXCLUDING...**
- 01.1.0.0 - Milk and dairy-based drinks
- 01.1.1.0 - MILK AND BUTTERMILK (PLAIN)
- 01.1.1.1 - Milk (plain)
- 01.1.1.2 - Buttermilk (plain)
- 01.1.2.0 - DAIRY-BASED DRINKS, FLAVOURED AND/OR FERMENTED
- 01.2.0.0 - Fermented and renneted milk products (plain), excluding...
- 01.2.1.0 - FERMENTED MILKS (PLAIN)
- 01.2.1.1 - Fermented milks (plain), not heat-treated after fermentation
- 01.2.1.2 - Fermented milks (plain), heat-treated after fermentation
- 01.2.2.0 - RENNETED MILK (PLAIN)
- 01.3.0.0 - Condensed milk and analogues (plain)
- 01.3.1.0 - CONDENSED MILK (PLAIN)
- 01.3.2.0 - BEVERAGE WHITENERS
- 01.4.0.0 - Cream (plain) and the like
- 01.4.1.0 - PASTEURIZED CREAM (PLAIN)
- 01.4.2.0 - STERILIZED AND UHT CREAMS, WHIPPING CREAM...

Countries

- Brunei
- Cambodia
- Indonesia
- Laos
- Malaysia
- Myanmar
- Philippines
- Singapore
- Thailand
- Vietnam

Select All | Unselect All

Select food additive

Organized according to functional classes

Select food category

Search

Select country

Members

Database Search

Profiles

Members Login

Hi demo,

Log out

Search

Search Criteria

Food Categories	ALL
Additive/Substance	Preservative/Benzoates
Countries	ALL

Legend

GSFA Value	Same with GSFA	Differs from GSFA	Harmonised with GSFA	Harmonised across searched countries	No data
------------	----------------	-------------------	----------------------	--------------------------------------	---------

Arrows to indicate whether lower or higher than GSFA value

Results

Food No./Description	GSFA (Codex STAN 192-199)	Brunei	Cambodia	Indonesia	Laos	Malaysia	Myanmar	Philippines	Singapore	Thailand
01.0.0.0 DAIRY PRODUCTS AND ANALOGUES, EXCLUDING PRODUCTS OF FOOD CATEGORY 02.0	100 ppm	200 ppm (+100ppm)	60 ppm (-40ppm)	90 ppm (-10ppm)	200 ppm (+100ppm)	60 ppm (-40ppm)	NP	NP	NP	NP
01.1.0.0 Milk and dairy-based drinks	50 ppm	60 ppm (+10ppm)	60 ppm (+10ppm)	60 ppm (+10ppm)	60 ppm (+10ppm)	60 ppm (+10ppm)	60 ppm (+10ppm)	60 ppm (+10ppm)	NP	60 ppm (+10ppm)
01.1.1.0 MILK AND BUTTERMILK (PLAIN)	NP	80 ppm	80 ppm	80 ppm	80 ppm	80 ppm	80 ppm	80 ppm	NP	80 ppm
01.1.1.1 Milk (plain)	NP	NP	NP	NP	NP	80 ppm	NP	NP	NP	NP
01.1.1.2 Buttermilk (plain)	NP	NP	NP	NP	NP	80 ppm	NP	NP	NP	NP
01.1.2.0 DAIRY BASED DRINKS, FLAVOURED AND/OR FERMENTED (e.g., ...)	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP

Indicates specific notes/conditions of use (roll over to reveal)

Red indicates all countries not harmonized with GSFA

Blue indicates some (not all) countries harmonized with GSFA

Green indicates all countries harmonized with GSFA

Members

Database Search

Profiles

Members Login

Hi demo,

Log out

Search

Search Criteria

Food Categories	DAIRY PRODUCTS AND ANALOGUES, EXCLUDING PRODUCTS OF FOOD CATEGORY 02.0
Countries	ALL

Legend

GSFA Value	Same with GSFA	Differs from GSFA	Harmonised with GSFA	Harmonised across searched countries	No data
------------	----------------	-------------------	----------------------	--------------------------------------	---------

Results

Additives	GSFA (Codex STAN 192-199)	Brunei	Cambodia	Indonesia	Laos	Malaysia	Myanmar	Philippines	Singapore	Thailand	Vietnam
01.0.0.0 DAIRY PRODUCTS AND ANALOGUES, EXCLUDING PRODUCTS OF FOOD CATEGORY 02.0											
Acidity regulator/Acetic acid, glacial	GMP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP
Acidity regulator/Ascorbic acid, L-	GMP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP
Antioxidant/Tocopherols concentrated, mixed	100 ppm	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP
Emulsifier/Acetic and fatty acid esters of glycerol	GMP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP
Flour treatment agent/alpha-Amylase from Aspergillus oryzae var.	GMP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP	NP
Preservative/Benzoates	100 ppm	200 ppm (+100ppm)	60 ppm (-40ppm)	90 ppm (-10ppm)	200 ppm (+100ppm)	60 ppm (-40ppm)	NP	NP	NP	NP	NP

Orange indicates harmonized across ASEAN countries

Display all additives allowed for the food category

Management of the Database

- **Administrator (ILSI SEAR):**
 - Update GSFA food additives when changes occur at CCFA
 - Update GSFA food categories when changes occur at CCFA
 - Maintenance and further upgrading of the database software
 - Support web hosting of the database
 - Help to administer user access to the database (report to ACCSQ PFPWG on list of users, see who has accessed it and from where)
- **Moderators (ASEAN Focal Points):**
 - Modify food additive standards data for own country
 - Able to add country-specific custom categories (if no GSFA category exists)
 - Not able to modify another country's data



Current Status

- Database population for Codex GSFA is [complete](#) and [updated](#) to the 37th Session of the Codex Alimentarius Commission (2014)
- Four rounds of data collection from AMSs on national food additive standards:
 - Colours (September 2012)
 - Preservatives (March 2013)
 - Sweeteners & Flavor enhancers (September 2013)
 - Antioxidants (January 2015)



Current Status

- Data on food additive standards is continuously collected from [Brunei](#), [Malaysia](#), [Singapore](#) & [Thailand](#) food safety authorities
- For [Indonesia](#) & [Vietnam](#) - data on food additive standards are directly obtained from national regulations/standards (same format as Codex GSFA categorization system)
- For [Cambodia](#), [Lao PDR](#), [Myanmar](#) & [Philippines](#), use data from latest Codex GSFA as these countries adopt Codex GSFA food additive standards at national level



Next Steps

- Continue to collect data from [Brunei](#), [Malaysia](#), [Singapore](#) & [Thailand](#) for remaining food additive categories
- Next template will be sent out to relevant ASEAN countries in May 2015 (sequestrants)
- Data received from AMS continuously being inputted into the Database



Status of current database population:

No.	Functional Class	Number	Time Needed
1	Preservative	47	1 month
2	Colour	46	1 month
3	Sweetener	27	1 month
	Flavour enhancer	28	
4	Antioxidant	45	1 month
5	Sequestrant	53	1 month
6	Emulsifier	98	2 months
7	Stabilizer	107	2 months
8	Thickener	74	3 months
	Acidity regulatory	84	
9	Raising agent	19	1 month
	Firming agent	14	
	Gelling agent	14	
10	Anticaking agent	33	1 month
	Foaming agent	12	
	Antifoaming agent	4	
11	Bulking agent	23	1 month
	Flour treatment agent	25	
12	Glazing agent	30	1 month
	Carrier	18	
13	Humectant	44	1 month
14	Colour retention agent	9	1 month
	Bleaching agent	1	
	Carbonating agent	1	
	Packaging gas	3	
	Propellant	4	
TOTAL			18 months



ASEAN Food Consumption Database for Exposure Assessment

Background - ASEAN Project on Food Consumption Data

- Recognition among ASEAN food safety authorities that reliable food consumption data is need to conduct accurate dietary exposure assessments
- ASEAN Expert Group on Food Safety (AEGFS) initiated Project on '[Strengthening ASEAN Risk Assessment Capacities: Food Consumption Data](#)' in 2010
- Technical assistance was requested to ILSI, FAO & WHO

Project Phase 1

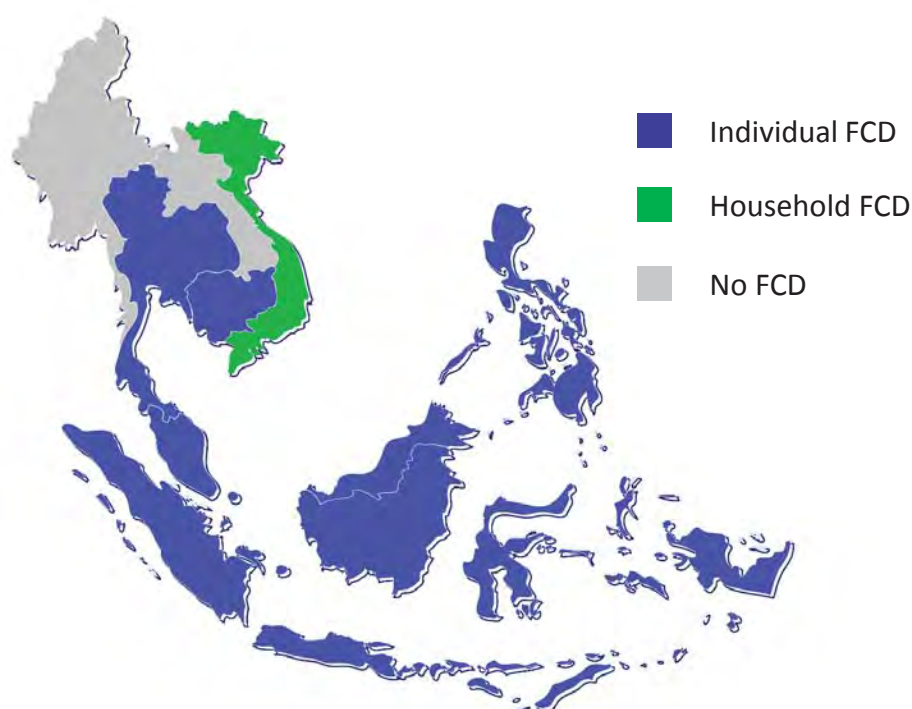
- WHO Technical Consultant:
Dr. Philippe Verger, WHO, Geneva
- FAO Consultant:
Dr. Ruth Charrondiere, FAO, Rome
- Regional Expert for Food Consumption Data:
Assoc. Prof. Mirnalini Kandiah, UPM, Malaysia
- Regional Expert for Risk Assessment:
Mr. Jamal Khair Hashim, FSQD, MOH, Malaysia
- Project Manager:
Mr. Keng Ngee Teoh, ILSI Southeast Asia Region

Project Phase 1

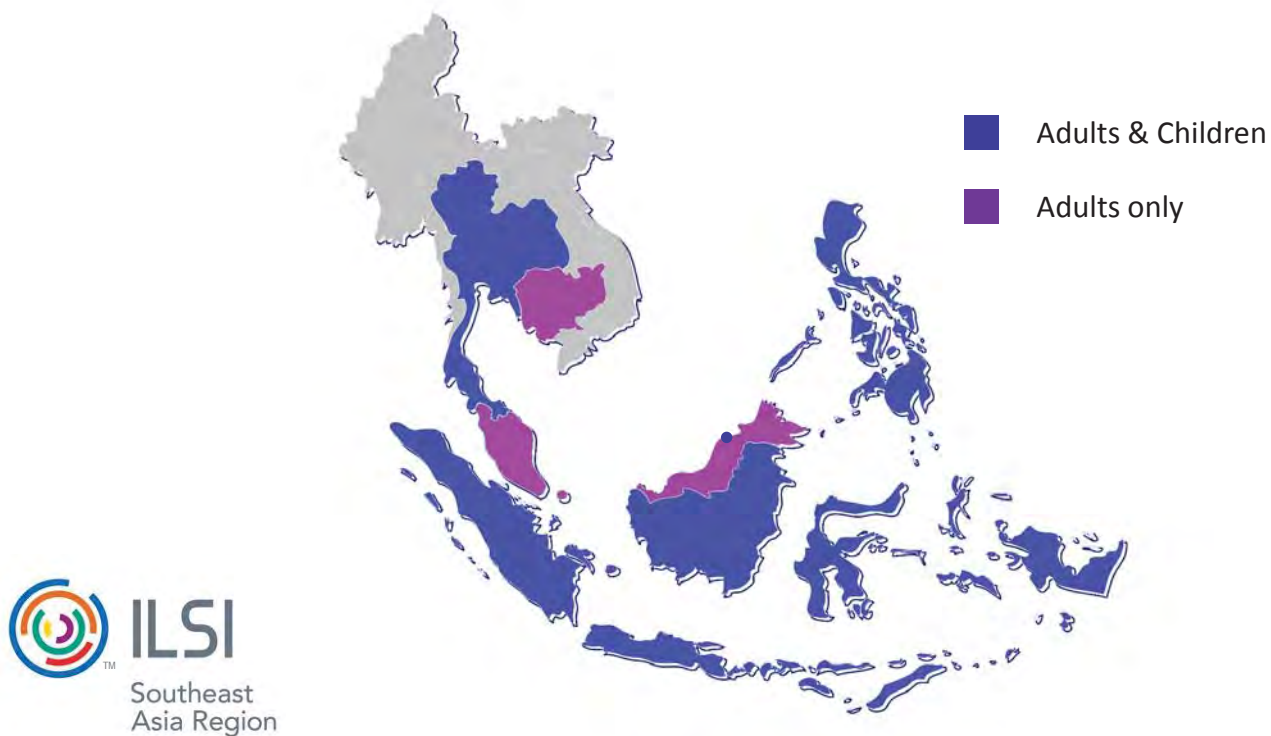
- Survey was conducted among food safety and nutrition agencies within ASEAN to find out:
 - Which countries have national food consumption data?
 - At what levels are they collected?
(individual vs household)
 - For which population age groups?
(children, adults, etc.)
 - What is the primary method used for data collection?
(FFQ vs 24-hr recall)



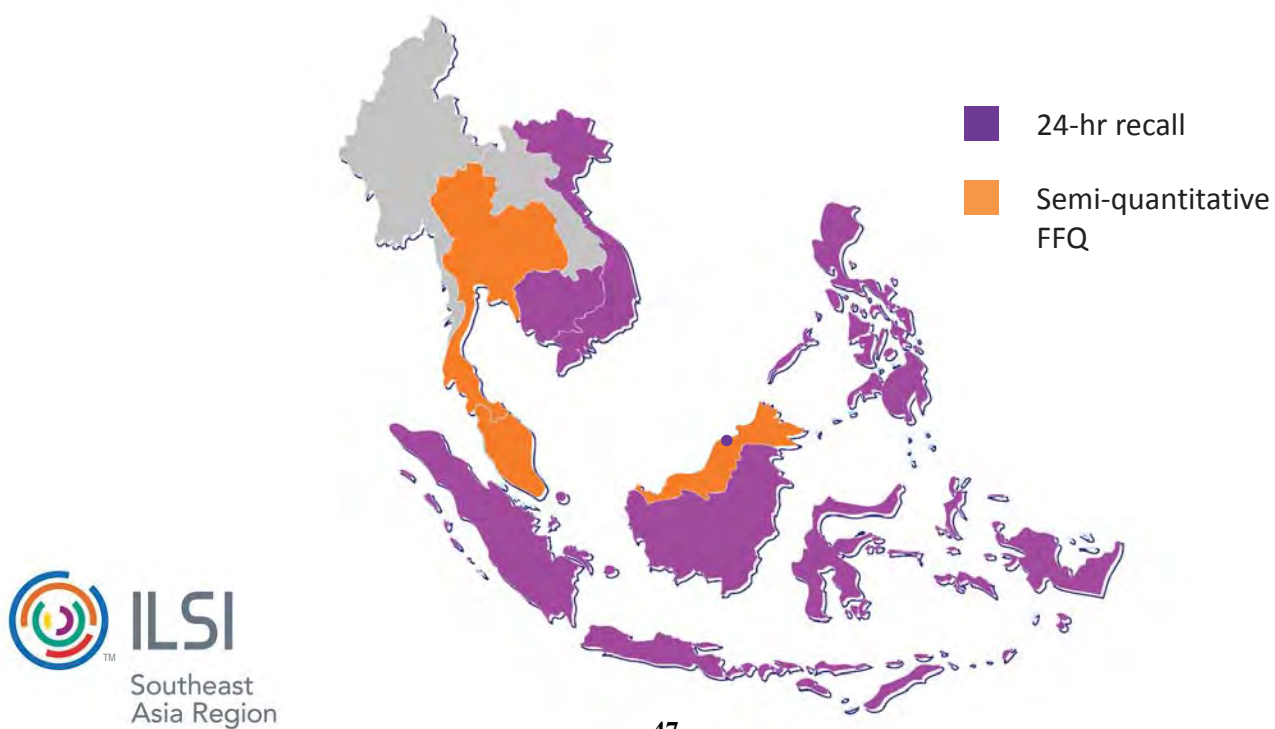
National Food Consumption Data



National Food Consumption Data



National Food Consumption Data



Project Phase 1

- **ILSI Southeast Asia Region, FAO and Food Safety & Quality Division, Ministry of Health, Malaysia** (Project lead country) jointly organized

1st Workshop on 'ASEAN Food Consumption Data and Exposure Assessment'
October 10-13, 2011, Kuala Lumpur, Malaysia

- **Objectives:**

- Discuss availability of food consumption data in ASEAN
- Discuss food consumption survey methods
- Identify steps to enable existing food consumption data to be used for dietary exposure assessment purposes among ASEAN countries



1st Workshop Outcomes

- **Work completed and agreements gained at the 1st Workshop:**
 - ASEAN countries agreed to share food consumption data to be used for dietary exposure assessment purposes
 - ASEAN countries agreed to compile existing food consumption data will be compiled into a common ASEAN Food Consumption Database
 - A draft list of harmonized food categories was developed as the basis for a common template to compile the national food consumption data
 - List of food categories to be further discussed via electronic working group
 - ASEAN countries would consider future work to harmonize food consumption data collection and reporting within their countries



Project Phase 2

- WHO Technical Consultant:
Dr. Philippe Verger, WHO, Geneva

- FAO Consultant:
Dr. Catherine Leclercq, FAO, Rome

- Project Manager:
Mr. Keng Ngee Teoh, ILSI Southeast Asia Region



Project Phase 2

- **ILSI Southeast Asia Region, FAO and Food Safety & Quality Division, Ministry of Health, Malaysia** (Project lead country) again jointly organized

2nd Workshop on 'ASEAN Food Consumption Data and Exposure Assessment'
November 19-21, 2013, Kuala Lumpur, Malaysia

- **Objectives:**
 - Discuss finalization of common food categories for the ASEAN Food Consumption Database

 - Discuss challenges in transferring national data into the common template



2nd Workshop Outcomes

- **Work done and technical decisions made at the 2nd Workshop:**
 - Food categories for the ASEAN Food Consumption Database would be harmonized at:

Level 1 - Food Categories

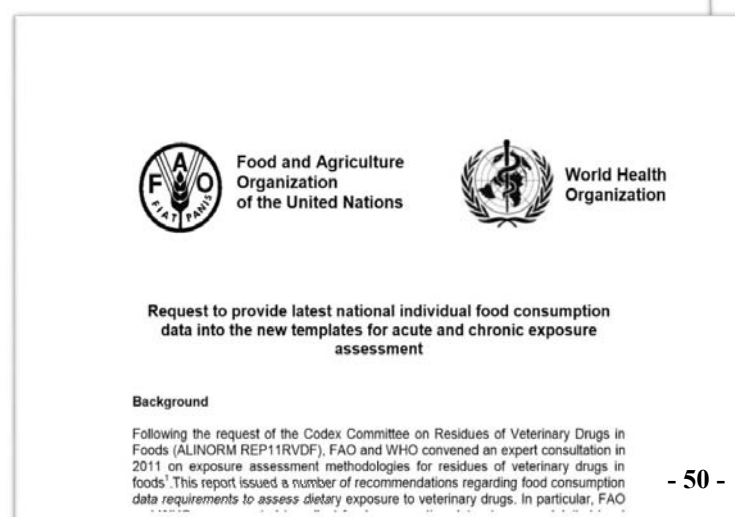
Level 2 - Food Sub-categories

List of food items included at Level 2 would be reported in the template, to facilitate future discussions on harmonization at Level 3 (Food Items)

- To report full set of statistics for all subjects & for eaters only:
Mean + SD; 1st, 2.5th, 5th, 10th, Median, 90th, 95th, 97.5th, 99th percentiles
- To include following age groups:
Group 1 - 6 months to 3 years
Group 2 - 3 year to 6 years
Group 3 - General population (6 years onwards)

2nd Workshop Outcomes

- Food categories would also be harmonized with format used by FAO/WHO to collect individual national food consumption data that would be used for international risk assessment activities by JECFA & JMPR



Common ASEAN Food Categorization System

NO.	CATEGORY	NO.	CATEGORY
1	CEREAL & PRODUCTS (4 sub-cat)	11	SUGAR, SYRUP & CONFECTIONARY (3 sub-cat)
2	PULSES, NUTS, SEEDS & PRODUCTS (4 sub-cat)	12	CONDIMENTS, SPICES & SAUCES (4 sub-cat)
3	STARCHY ROOTS, TUBERS & PRODUCTS (2 sub-cat)	13	BEVERAGES: ALCOHOLIC (3 sub-cat)
4	FRUITS & PRODUCTS (9 sub-cat)	14	BEVERAGES: NON-ALCOHOLIC (8 sub-cat)
5	VEGETABLES & PRODUCTS (13 sub-cat)	15	SNACKS NOT ELSEWHERE SPECIFIED
6	MEAT & PRODUCTS (7 sub-cat)	16	SWEETENERS & SUGAR SUBSTITUTES
7	FISH, SEAFOOD & PRODUCTS (6 sub-cat)	17	FOODS FOR INFANTS & BABY FOODS
8	EGG & PRODUCTS (2 sub-cat)	18	SPECIAL PURPOSE / FUNCTIONAL FOODS
9	MILK & PRODUCTS (3 sub-cat)	19	FOOD SUPPLEMENTS & NATURAL EXTRACTS
10	FATS & OILS (3 sub-cat)	20	COMPOSITE FOODS

Reporting Template for ASEAN Food Consumption Data

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
NO.	CATEGORY	NO.	SUB-CATEGORY	N_subjects	Mean	Std	PI	P2_5	P5	P10	Median	P90	P95	P97_5	P99	Foods Included	Comments
1	CEREAL & PRODUCTS																
		1A	rice														
		1B	rice products														
		1C	cereals other than rice														
		1D	cereal products other than rice products														
2	PULSES, NUTS, SEEDS & PRODUCTS																
		2A	pulses														
		2B	nuts ¹														
		2C	seeds ²														
		2D	pulses, nuts and seeds products														
3	STARCHY ROOTS, TUBERS & PRODUCTS																
		3A	starchy roots and tubers														
		3B	starchy roots and tubers products														
4	FRUITS & PRODUCTS																
		4A	citrus														
		4B	melons														
		4C	tropical fruits, edible peel ³														
		4D	tropical fruits, inedible peel														
		4E	pome fruits														
		4F	stone fruits														
		4G	other fruits and fruits not specified, unprocessed														
		4H	berries and other small fruits, unprocessed														
		4I	fruit products														
5	VEGETABLES & PRODUCTS																
		5A	leafy vegetables ⁵														
		5B	brassica vegetables ⁶														
		5C	root vegetables ⁷														
		5D	fruiting vegetables other than cucurbit														
		5E	leguminous vegetables														
		5F	bulbs														
		5G	cucurbit														
		5H	edible flowers														
		5I	stalk and stem vegetables														
		5J	other vegetables														
		5K	edible fungi and mushrooms														
		5L	dried vegetables ⁸														
		5M	canned/preserved vegetables ⁹														
6	MEAT & PRODUCTS																
		6A	mammal meat ¹⁰														
		6B	poultry and other avian species ¹¹														
		6C	mammal offal														
		6D	poultry offal														
		6E	edible insects														
		6F	meat not otherwise specified														

ASEAN Food Consumption Database for Exposure Assessment

- Once completed, the ASEAN Food Consumption Database will be hosted by the ASEAN Risk Assessment Centre (ARAC)
- ASEAN Member States currently in the process of submitting data using the harmonized reporting template, working through an electronic working group (eWG) coordinated by Malaysia as the lead country
- ILSI, FAO & WHO have been included in the eWG to provide technical advice on specific issues concerning the transfer of national data into the ASEAN template, when such issues arise
- Preliminary plans to organize another follow-up workshop at the end of 2015 to facilitate further progress on the initiative

Scientific & Technical Cooperation to Support Harmonization

- ASEAN countries are in the process of harmonizing food standards to achieve the objectives of the ASEAN Economic Community
- ILSI continues to play a supporting role in the process of ASEAN food standards harmonization by facilitating technical and scientific support





Thank you
Questions?

Website: www.ilsis.org/SEA_Region

Progress of ASEAN Food Standards Harmonization

Dedi Fardiaz
Department of Food Science and Technology
SEAFast Center, Bogor Agricultural University
Indonesia

**Presented at a Meeting on “Globalization of Food Industry -
Investigation of Food Regulations in Asia and Their Database”
February 19, 2015, Tokyo, Japan**

Dedi Fardiaz

Tokyo, Japan, February 19, 2015

1

ASEAN ECONOMIC COMMUNITY 2015



Progress of ASEAN Food Standards Harmonization

OUTLINE

- Introduction
(ATIGA: ASEAN Trade in Goods Agreement)
- ASEAN sectoral bodies involve in food safety
- Food safety standards harmonization efforts in the ASEAN (approaches)
- Progress of Harmonization
- Summary

Dedi Fardiaz

Tokyo, Japan, February 19, 2015

3

ASEAN Profile



Flag



Emblem

Membership:
10 states

Total Area:
4,435,674 km²

Total Population:
604,803,000
(2011 estimate)

GDP:
Per capita US\$ 3,601

Objective

The objective of this Agreement is to **achieve free flow of goods in ASEAN as one of the principal means to establish a single market and production base** for the deeper economic integration of the region towards the realisation of the **AEC by 2015**

ASEAN Trade in Goods Agreement
ATIGA



CHAPTER 8 SANITARY AND PHYTOSANITARY MEASURES Article 79

The objectives among others are to:

- facilitate trade between and among Member States while **protecting human, animal or plant life or health** in each Member State
- **strengthen co-operation** among Member States in protecting human, animal or plant life or health

Food safety becomes an important issue in trading of food

ASEAN Trade in Goods Agreement
ATIGA



From farm to table, food safety cuts across the sectors of agriculture, trade, health, and science and technology

Food Safety is discussed in several ASEAN Bodies

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEAN Sectoral Working Group on Livestock (ASWGL), 2. ASEAN Sectoral Working Group on Fisheries (ASWGFi), 3. ASEAN Sectoral Working Group on Crops (ASWGC), 4. ASEAN Task Force on Codex (ATFC), 5. ASEAN Food Safety Network (AFSN), 6. ASEAN Working Group on Halal (AWG Halal), 7. Ad-hoc Working Group on Food Irradiation (AWGFI), | <p>Agriculture
Fisheries
Forestry</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> 8. ACCSQ-PFPWG (ASEAN Consultative Committee on Standards and Quality – Prepared Foodstuff Product Working Group), | <p>Economic
Trade</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> 9. ASEAN Experts Group on Food Safety (AEGFS), | <p>Health</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> 10. ASEAN COST (Committee on Science and Technology),
Sub-Committee on Food | <p>Science &
Technology</p> |

Dedi Fardiaz

Tokyo, Japan, February 19, 2015

7

Support the Future of ASEAN Single Market



Facilitate the Trade Intra ASEAN



ACCSQ – Prepared Foodstuff Product Working Group (ACCSQ-PFPWG)

ASEAN Experts Group on Food Safety (AEGFS)



**Capacity Building in Food Safety Improvement
ASEAN Risk Assessment Center**

Dedi Fardiaz

Tokyo, Japan, February 19, 2015

8

Food Safety Standards Harmonization is an Important Step to Support ASEAN Single Market



CHAPTER 7 STANDARDS, TECHNICAL REGULATIONS AND CONFORMITY ASSESSMENT PROCEDURES

<http://www.asean.org/communities/asean-economic-community/category/asean-trade-in-goods-agreement>

Article 71 Objective

- The objective of this Chapter is **to establish provisions on standards, technical regulations and conformity assessment procedures to ensure that these do not create unnecessary obstacles to trade in establishing ASEAN as a single market and production base**, and at the same time ensure that the legitimate objectives of Member States are met.

Article 74 Standards

- In harmonising national standards, **Member States shall, as the first and preferred option, adopt the relevant international standards** when preparing new national standards or revising existing standards.
- **Where international standards are not available, national standards shall be aligned among Member States**
- Harmonisation of the existing national standards and adoption of international standards into new national standards **should be based on “Adoption of International Standards as Regional or National Standards”**, as contained in the **ISO/IEC Guide 21** or its latest edition

Food Safety Standards Harmonization Efforts in the ASEAN

Since 2002, the ASEAN Food Safety Standards Harmonization Workshop Series sponsored by ILSI Southeast Asia Region have been used as a forum for regulators in the region:

- to facilitate the exchange of information and scientific updates in food safety and standards;
- to discuss and share potential mechanisms for improvement of food safety standards in the ASEAN countries;
- to facilitate harmonization efforts towards Codex, where they exist; or towards scientifically-sound regional standards where Codex standards are not in place; and
- to identify gaps for exposure data development and risk assessment capacity building.

Dedi Fardiaz

Tokyo, Japan, February 19, 2015

11

Database on ASEAN Food Additives (Keng Ngee Teoh, ILSI SAR)



International Life Sciences Institute
Southeast Asia Region

Welcome to the ASEAN Food Safety Standards Database

This database contains National Food Safety Standards of ASEAN countries and the comparison with Codex GSFA, to support the harmonization efforts in the region. This database is maintained and periodically updated by ILSI Southeast Asia Region Food Safety and Risk Assessment Task Force.

Online Food Safety Standards Database generated by ILSI SEA Region:

- Consists of Codex GSFA and 10 ASEAN countries' standards;
- Facilitate systematic review and periodical updating by participating ASEAN countries; and
- Helpful tool to track harmonization status.

Dedi Fardiaz

Tokyo, Japan, February 19, 2015

12

Since 2008, the ACCSQ – PFPWG (Prepared Foodstuff Product Working Group) have established:

1. Task Force on Harmonization of Food Safety Standards, and
2. Task Force on MRA (Mutual Recognition Arrangement)

Specific Products under MRA (HS 16 to HS 21)

HS 16 Preparation of Meat, Fish or of Crustacean, Mollusk or Other Aquatic Invertebrate

HS 1601 HS 1602 HS 1603 HS 1604 HS 1605

HS 17 Sugars and Sugar Confectionery

HS 1701 HS 1702 HS 1703 HS 1704

HS 18 Cocoa and Cocoa Preparation

HS 1801 HS 1802 HS 1803 HS 1804 HS 1805 HS 1806

HS 19 Preparation of Cereal, Flour and Starch or Milk, Pastry Cooks Products

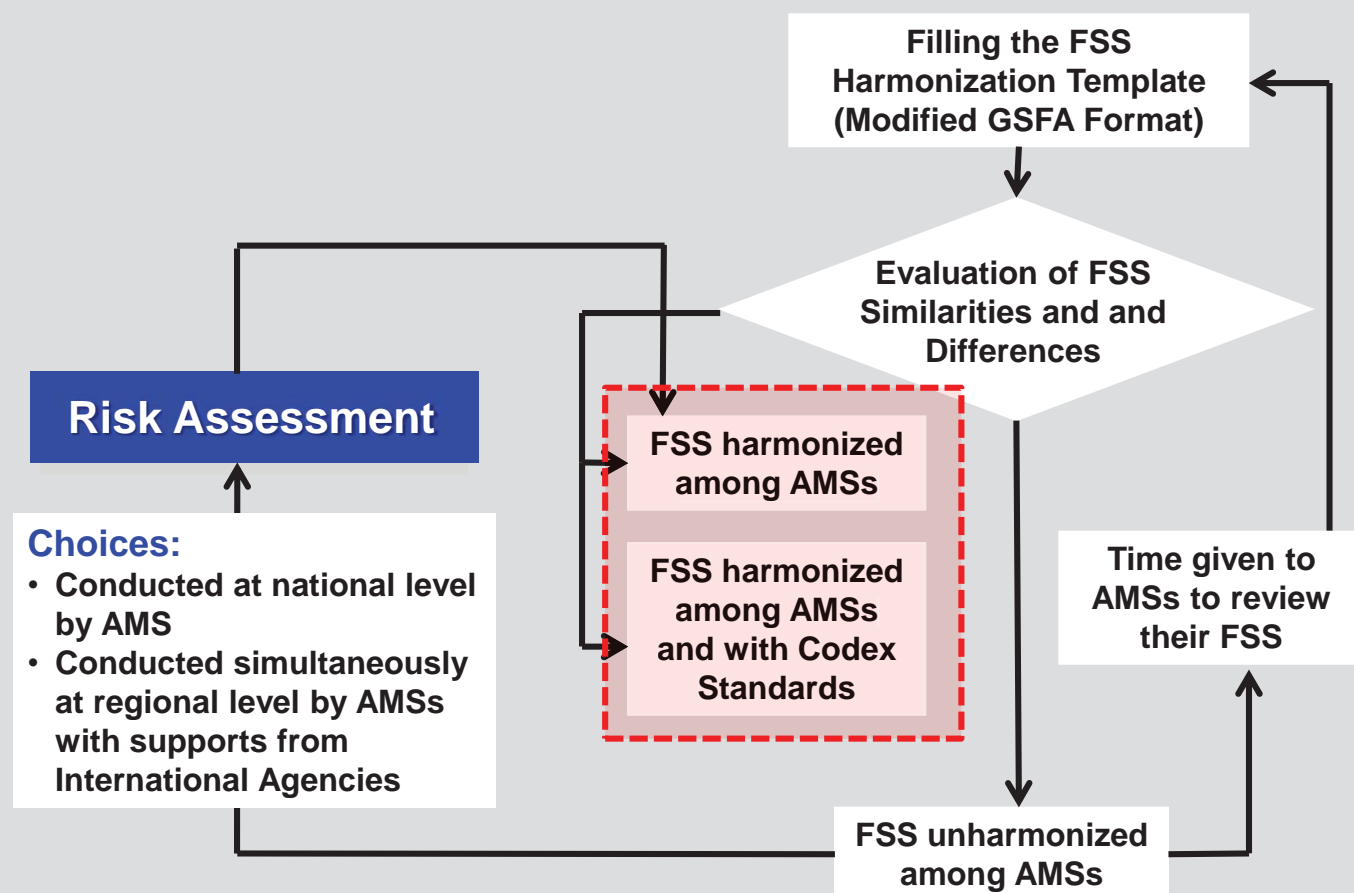
HS 1901 HS 1902 HS 1903 HS 1904 HS 1905

HS 20 Preparation of Vegetable, Fruits, Nuts or Other Plants

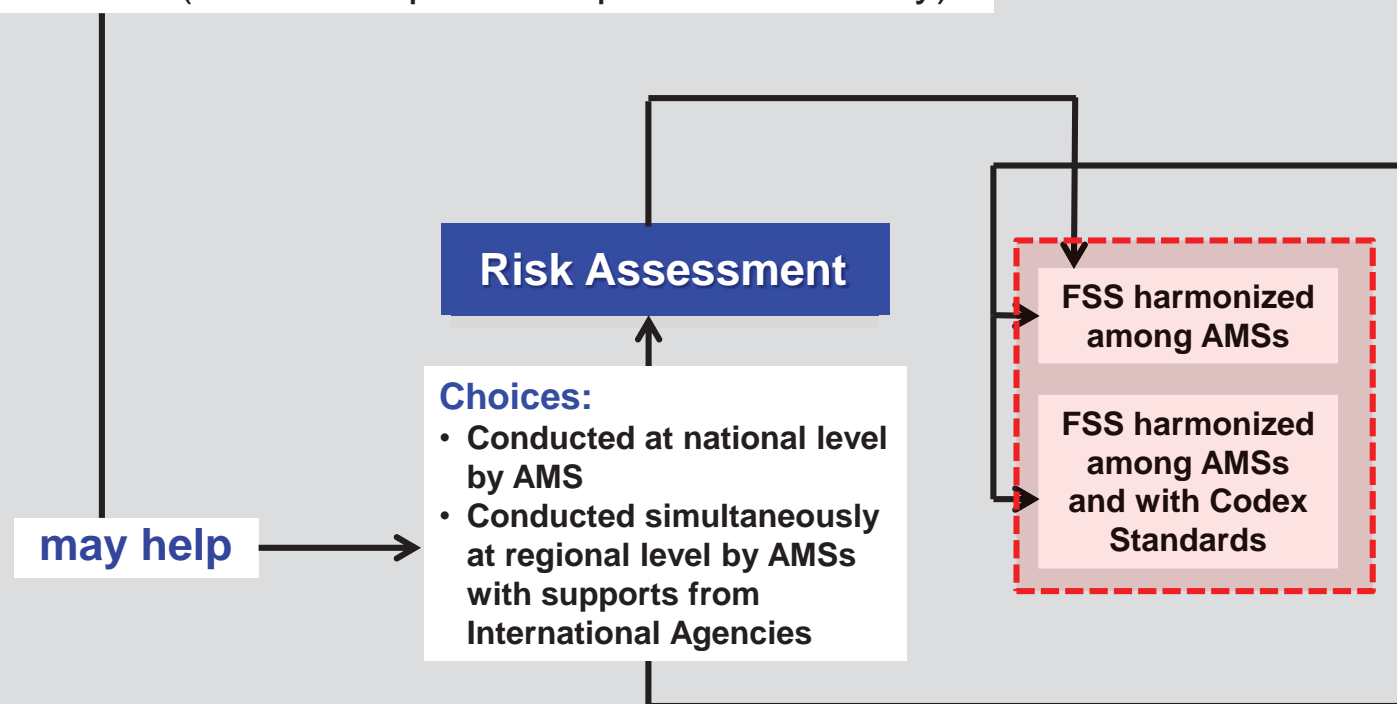
HS 2001 HS 2002 HS 2003 HS 2004 HS 2005 HS 2006 HS 2007 HS 2008 HS 2009

HS 21 Miscellaneous Edible Preparations

HS 2101 HS 2102 HS 2103 HS 2104 HS 2105 HS 2106



ARAC (ASEAN Risk Assessment Center) under
AEGFS (ASEAN Expert Group on Food Safety)



Food Safety Standards Harmonization Approach in the ASEAN

ARAC (ASEAN Risk Assessment Center) under
AEGFS (ASEAN Expert Group on Food Safety)

Past Activities on Regional Risk Assessment

Training Case Studies on:

- **Microbiological Risk Assessment** (*Vibrio parahaemolyticus* in shrimp, *Bacillus cereus* in rice, and *Salmonella sp* in poultries)
- **Chemical Risk Assessment** (Aflatoxins in peanut and other foods, Cyclamate in foods, and Chloropropanols in soysauce)
- **Development of Common ASEAN Food Consumption Data for Dietary Exposure Assessments**

Food Safety Standards Harmonization Approach in the ASEAN

Harmonized Food Categories for ASEAN Food Consumption Data

(ILSI Southeast Asia Region, 2014)

No	Food Category	No	Food Category
1	CEREAL & PRODUCTS (4 sub-cat)	11	SUGAR, SYRUP & CONFECTIONARY (3 sub-cat)
2	PULSES, NUTS, SEEDS & PRODUCTS (4 sub-cat)	12	CONDIMENTS, SPICES & SAUCES (4 sub-cat)
3	STARCHY ROOTS, TUBERS & PRODUCTS (2 sub-cat)	13	BEVERAGES: ALCOHOLIC (3 sub-cat)
4	FRUITS & PRODUCTS (9 sub-cat)	14	BEVERAGES: NON-ALCOHOLIC (8 sub-cat)
5	VEGETABLES & PRODUCTS (13 sub-cat)	15	SNACKS NOT ELSEWHERE SPECIFIED
6	MEAT & PRODUCTS (7 sub-cat)	16	SWEETENERS & SUGAR SUBSTITUTES
7	FISH, SEAFOOD & PRODUCTS (6 sub-cat)	17	FOODS FOR INFANTS & BABY FOODS
8	EGG & PRODUCTS (2 sub-cat)	18	SPECIAL PURPOSE / FUNCTIONAL FOODS
9	MILK & PRODUCTS (3 sub-cat)	19	FOOD SUPPLEMENTS & NATURAL EXTRACTS
10	FATS & OILS (3 sub-cat)	20	COMPOSITE FOOD

ASEAN COMMUNITY 2015

→ ASEAN Political-Security Community (APSC)

→ ASEAN Economic Community (AEC)

→ ASEAN Socio-Cultural Community (ASCC)

ASEAN Common Food Control Requirements (ACFCR), 2005

1. ASEAN Common Principles for Food Control Systems (**ACPFCS**)
2. ASEAN Common Principles and Requirements for the Labelling of Prepackaged Food (**ACPRLPF**)
3. ASEAN Common Principles and Requirements for Food Hygiene (**ACPRFH**)

These are ASEAN efforts in harmonizing:

- Food Control System Principles
- Labelling Principles
- Food Hygiene Principles

Codex Commodity (Food) Standards Format

Name of the Standard
Scope
Description
Essential Composition and Quality Factor
Food Additives
Contaminants
Hygiene
Weights and Measures
Labelling
Methods of Analysis and Sampling

These re still being processed for harmonization using GSFA template

ACPRFH

ACPRLPF



ASEAN Food Reference Laboratory
 ASEAN Food Testing Laboratory Committee
 ASEAN Food Testing Laboratory Network

RECENT PROGRESS IN HARMONIZATION

→ ASEAN Economic Community (AEC)

ASEAN Common Food Control Requirements (ACFCR), 2014 has been harmonized (with slight modification) with Codex Standards

- CAC/GL 82-2013:** Principles and Guidelines for National Food Control Systems;
- CAC/RCP 1-1969, Rev. 4-2003:** General Principles of Food Hygiene;
- CAC/GL 20 -1995:** Principles for Food Import and Export Inspection and Certification;
- CAC/GL 26 -1997:** Guidelines for the Design, Operation, Assessment and Accreditation of Food Import and Export Inspection and Certification Systems; and
- CAC/GL 47-2003:** Guidelines for Food Import Control Systems.

SUMMARY

- Facing an ASEAN Economic Community in 2015, various efforts have been made nationally by AMSs and regionally through ASEAN cooperation. Among others is the development of **ACFCR (ASEAN Common Food Control Requirements)**, a guideline for strengthening national food control systems in AMSs.
- Harmonization of food safety standards is another effort that will facilitate the trade intra ASEAN and support the future ASEAN single market. **Decision tree approach has been developed** as a mean for food safety standards harmonization.
- To accelerated and support the realisation of the **AEC by the end of 2015, several Codex Standards were adopted with slight modification**

Thank You Very Much

